

(仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	—	A-20	改修後展開図 (1)	1/50	E-01	特記仕様書	—	M-01	特記仕様書	—
A-01	特記仕様書1	—	A-21	改修後展開図 (2)	1/50	E-02	凡例	—	M-02	配置図	1/200
A-02	特記仕様書2	—	A-22	改修後展開図 (3)	1/50	E-03	分電盤結線図 照明器具姿図	—	M-03	衛生設備 器具表	—
A-03	特記仕様書3	—	A-23	改修後展開図 (4)	1/50	E-04	拡声・電気錠機器姿図	—	M-04	衛生設備 改修前3階平面図	1/50
A-04	特記仕様書4	—	A-24	2階天井伏図	1/50	E-05	幹線設備 屋外平面図	1/100	M-05	衛生設備 改修前屋上平面図	1/50
A-05	特記仕様書5	—	A-25	改修前キープラン	1/50	E-06	幹線設備 屋上平面図	1/50	M-06	衛生設備 改修後3階平面図	1/50
A-06	特記仕様書6	—	A-26	改修後キープラン	1/50	E-07	電灯設備 3階平面図	1/50	M-07	衛生設備 改修後屋上平面図	1/50
A-07	特記仕様書7	—	A-27	建具表 (1)	1/30	E-08	非常照明・誘導灯設備 3階平面図	1/50	M-08	冷暖房設備 機器表	—
A-08	案内図・配置図	1/200	A-28	建具表 (2)	1/30	E-09	コンセント設備 3階平面図	1/50	M-09	冷暖房設備 改修前3階平面図	1/50
A-09	仕上表	—	A-29	建具表 (3)	1/30	E-10	空調室内機電源設備 3階平面図	1/50	M-10	冷暖房設備 改修前屋上平面図	1/50
A-10	改修前3階平面図	1/50	A-30	建具表 (4)	1/30	E-11	放送設備 3階平面図	1/50	M-11	冷暖房設備 改修後3階平面図	1/50
A-11	改修後3階平面図	1/50	A-31	建具表 (5)	1/30	E-12	自動火災報知設備 3階平面図	1/50	M-12	冷暖房設備 改修後屋上平面図	1/50
A-12	改修前3階天井伏図	1/50	A-32	建具表 (6)	1/30	E-13	撤去 (参考) 設備 3階平面図	1/50	M-13	換気設備 機器表・計算表	—
A-13	改修後3階天井伏図	1/50	A-33	建具表 (7)	1/30	E-14	取外し再取付 2階平面図	1/50	M-14	換気設備 改修前3階平面図	1/50
A-14	改修前水廻り詳細図	1/25	A-34	建具表 (8)	1/30				M-15	換気設備 改修後3階平面図	1/50
A-15	改修後水廻り詳細図	1/25	A-35	部分詳細図	図示						
A-16	改修前展開図 (1)	1/50	A-36	2階仮設計画図	1/50						
A-17	改修前展開図 (2)	1/50	A-37	3階仮設計画図	1/50						
A-18	改修前展開図 (3)	1/50									
A-19	改修前展開図 (4)	1/50									

甲府地区消防本部3階改修工事

設計図

令和 7 年 2 月 (全 枚)

仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所

山梨県甲府市伊勢3丁目8-23

2. 敷地面積

3. 建物規模

消防署	5階建て	R C造一部S造	1階	1065.433㎡
			2階	1074.773㎡
			3階	967.573㎡
			PH1	54.641㎡
			PH2	18.480㎡
			合計	3180.900㎡

4. 工事内容

3階内装改修工事

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

工事種目			
工事項目			
② 仮設工事	一式		
3 防水改修工事			
4 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁			
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁			
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁			
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁			
⑤ 建具改修工事	一式		
⑥ 内装改修工事	一式		
⑦ 塗装改修工事	一式		
8 耐震改修範囲以外の躯体改修工事			
耐震改修工事			
9 環境配慮改修工事			

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」による。
また、改修工事に関しては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）」による。
工事関係提出書類等については、「工事関係提出書類一覧表（営繕課）」（営繕課HPに掲載）を熟読し、遺漏の無いように提出すること。（特に留意すべき事項については、特記仕様書に重複して記載している。）

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、ともに適用する。

（3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の（別2- ）は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の該当項目を示す。

（6）□印は「国等による環境物品等の調達に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

3. 適用基準等

・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和4年版）
・工事写真ガイドブック（建築工事編及び解体工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版）
・建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
・

章 1 一般共通事項

特 記 事 項 R6.4

① 電子的納品
・ 「電子的成果品作成要領」による。
（県ホームページ:トップ＞県政情報・統計＞入札・公共事業関係＞電子納品＞電子納品要領（営繕課）・営繕工事写真撮影要領 参照）
・ 完成図（製本版） ―部（A3縮小版） 注）その他の紙媒体による提出物については、監督職員と協議すること。

② 技能士の活用を積極的に図ること。また、施工計画書に技能士の指名・資格証明書を添付すること。
なお、防水工事及び塗装工事については、技能士の活用を必須とする。

③ 現場への搬入路は、破損のないよう留意し、もし破損した場合は速やかに復旧すること。

④ 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づき、「山梨県グリーン購入の推進を図るため方針」により定められた次の資材に関しては、同法の判断基準を満たすものの採用に努め、建設機械については原則使用すること。
なお、採用が困難な場合は理由書を添付して報告すること。（コスト、納期、使用部位へ適応性など）
再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）
陶磁器質タイル、高炉セメント、フライアッシュセメント、再生加熱アスファルト混合物
再生骨材等、小径丸太材（間伐材）、排出ガス対策型建設機械
注）高炉セメント、フライアッシュセメントは鉄筋コンクリート道には使用しない。
注）再生加熱アスファルト混合物は積極的に採用する。（プラントから40km以内の現場）

次の製品に関しては同法の判断基準を満たすものから選定すること。
提示板、黒板、ホワイトボード、カーテン、カーペット

⑤ 高炉セメントB種を以下の部位に使用すること。
・ ラップルコンクリート
・ 捨てコンクリート
・ 場所打ちコンクリート杭地盤
・ 外構工事等に伴う地中部分のコンクリート工作物

⑥ 環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。
注）建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。

⑦ 工事特性・創意工夫・社会性等実施状況について（請負工事費500万円以上）
工事成績評定の対象工事について、請負者は、自ら立案・実施した創意工夫や技術力に関する項目、地域社会への貢献として評価出来る項目に関する事項を、所定の様式により事前に提出することができる。

⑧ 工事の着手に先立ち、次の施工計画書を提出すること。
・ 工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書
・ 品質計画、一工程の施工の確認及び施工の具体的な計画を定めた工種別の施工計画書
注） 軽微な工種など、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は必要としない。
注） 安全対策、使用材料、施工体制（下請け施工者の責任者等）を記載すること。

⑨ 建設副産物実施調査について（請負工事費100万円以上）
請負者は、「再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書」を作成し、総合施工計画書に添付すること。
注）「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（Excel様式）」の最新版（国土交通省ホームページ）で作成すること。

工事完了後は、「再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書」を作成し、完成書類に添付すること。
また、電子データを電子媒体（CD、DVD）により監督職員に提出すること。なお、提出に当たっては、事前に「記入内容チェックツール」によるエラーチェックを行うこと。

なお、建設副産物情報交換システム（CORIS）の利用することも可能であり、その場合は電子データの提出は不要とする。
（入力内容については、システム上でチェックした上で、自社で1年間保管しておくこと。）

⑩ 暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除について
請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに監督職員に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
この場合において、工程等を変更せざるをえなくなったときは、速やかに監督職員と協議すること。
なお、請負者が不当要求等に関する報告を怠った場合は、「山梨県建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。

11 地中埋設物について
設計図書を参考に、詳細に現地調査を行うこと。

⑫ 居ながら工事について
施設利用者等の安全に十分に配慮すること。
外壁等の吹付工事を行う場合は、十分な飛散防止対策を行うとともに、駐車車両についても車両用ビニールカバーで覆うなどの対策を行うこと。なお、飛散等による苦情及び被害があった場合は、施工者に試案に対応すること。

⑬ ワンデーレスポンスについて
（1）この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
・「ワンデーレスポンス」とは
受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等を行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうちに」に通知することである。
（2）受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。
（3）受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較調査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。
（4）ワンデーレスポンスの実施にあたっては、山梨県ホームページに掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和6年4月）に基づき、取り組むものとする。
（5）効果・課題等を把握するため、アンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため協力すること。

⑭ 主任技術者又は監理技術者の専任について（請負工事費4000万円以上 建築一式は8000万円以上）
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「完成検査結果通知書」等における日付）とする。

⑮ 低騒音型建設機械の使用について
本工事において、原則「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（昭和62年3月30日建設省経機第58号）」に基づき、低騒音型建設機械を使用する。
なお、低騒音型建設機械については、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成9年建設省告示第1536号最終改正平成20年国土交通省告示第361号）」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。
また、施工現場において指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督員に提出するものとする。

⑯ 公共事業労務費調査について
当該工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、監督員の指示によりこれに協力しなければならない。

⑰ ゴム製品等について
（1）ゴム製品等の品質確認等
東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、契約時点で同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）と資本面・人面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。

なお、必要な品質証明書は、以下の試験および検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。
（2）ゴム製品等の品質確認をした場合における瑕疵担保の取扱い
第三者による品質証明書類を提出し監督員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合の受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。

⑮ 連休2日適用工事について
本工事は連休2日適用工事とし、4週8休を見込んでいる。取り扱いについては、令和6年5月1日から適用する「連休2日適用工事実施要領」による。
また、予定価格の算定については、月単位の連休2日の補正係数を乗じて算定する。
対象期間における現場閉鎖の達成状況を確認し、月単位の4週8休に満たない場合は、補正係数を通常の補正係数に変更し、通常の4週8休に満たない場合は、補正係数を除し減額変更を行うものとする。
なお、詳細は令和6年3月22日付け国会契第37号、国営管第589号、国営管第171号、国営管第13号による「営繕工事における連休2日促進工事実施要領」の受注者希望方式の積算方法による。

⑮ 法定外の労災保険の付保について
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

20 特例監理技術者について（請負工事費8000万円以上3億円未満（JVを除く））
本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の（1）～（8）の要件を全て満たさなければならない。
（1）建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
（2）監理技術者補佐は、一級施工管理技術士、又は一級施工管理技術士の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。
（3）監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。
（4）同一の特例監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体化が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一の工事とみなす。）
（5）特例監理技術者が業務できる工事は山梨県内の工事であること。
（6）特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行できること。
（7）特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
（8）監理技術者補佐が担う業務等について、書面により明らかにすること。

特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合、又は配置を要しなくなった場合は適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

⑮ 現場環境の整備（快適トイレ）について
本工事は、快適トイレ設置の対象工事とする。実施にあたっては、「建設現場における快適トイレ設置に関する実施要領」に基づき、取り組むものとする。なお、受注者は同要領（実施方法）第4（2）により原則、工事着手前までに工事打合せ簿により発注者と協議を行い、監督職員の承諾を得て実施するものとする。

⑮ デジタル工事写真の小黑板情報電子化について
デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。
本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。対象工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。
（1）対象機器の導入
受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、山梨県国土整備部営繕工事写真撮影要領・同解説「3.工事写真の撮影」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。
信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「http://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。
なお、使用機器の事例として、URL「http://www.cals.jacic.or.jp/CIW/sharing/index_digital.html」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。
（2）デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入黒板情報を電子画像として同時に記録
受注者は、28-（1）の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、山梨県国土整備部営繕工事写真撮影要領・同解説「3.工事写真の撮影」による。
ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工程については、使用機器の利用を限定するものではない。
（3）小黑板情報の電子的記入の取扱い
本工事の工事写真の取扱いは、山梨県国土整備部営繕工事写真撮影要領・同解説及び国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕工事写真撮影要領に準ずるが28-2に示す小黑板情報の電子的記入については、山梨県国土整備部営繕工事写真撮影要領・同解説「4.編集の禁止」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕工事写真撮影要領「4.編集の禁止」で規定されている写真編集には該当しない。
（4）小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品
受注者は、28-（2）に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は URL（https://www.joomsia.org/kokuban/）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。
なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することができる。

⑮ 建設現場における遠隔臨場に関する試行工事（受注者希望型）
本工事は、「建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき、遠隔臨場の実施を希望することができる。
受注者は、工事請負契約後に遠隔臨場の利用を希望する場合は、速やかにその旨を協議する工事打合せ簿を監督員に提出し、承諾を得なければならない。

⑮ 情報共有システムの活用
本工事は、監督員及び請負者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る「情報共有システム（発注者指定型・基本適用型）」の活用対象工事である。活用にあたっては、「山梨県県土整備部営繕課情報共有システム試行要領」に基づき実施すること。
請負者は、次の要件を満たす情報共有システムを選定し、監督員の承諾を得ること。
なお、別途発注の関連工事がある場合は、別途発注工事請負者と協議の上システムを選定すること。
＜山梨県県土整備部営繕課情報共有システム機能仕様書＞
・監督員及び請負者が利用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、請負者が行うものとする。
・利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の使用やワークフロー機能の対象者数については、監督員の確認を得た上で決定すること。
・請負者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。
① 情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨
② サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防弊し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに請負者に連絡を行い適正な処置を行う旨
③ ②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督員若しくは請負者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、請負者はサービス提供者と協議のうえ情報共有システムの利用を停止することができる旨
・請負者は、監督員から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

⑮ ウィークリースタンスの実施
本業務は、ウィークリースタンスの対象工事である。実施にあたっては、「山梨県ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。

26 都市公園内に設置する現場事務所等
都市公園内に現場事務所等を設置する場合は、都市公園法第6条の規定に基づき、公園管理者の許可を受けること。なお、許可を受けた場合は、山梨県都市公園条例第9条の規定により、使用料を支払うものとする。

⑮ 建設業許可等を有しない者の報告について
「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負契約を締結する場合には、金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負者までを対象に建設業許可等の有無を確認し、許可を有しない者がある場合は、下記について監督員に報告するものとする。
なお、提出は打合せ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。
1. 会社名
2. 代表者名（ふりがな）
3. 代表者生年月日

設計年月： 2025.03

工事名称

（仮称）山梨県国中消防共同指令センター整備工事

承諾

中込

担当

作図

図面名称

特記仕様書（1）

縮尺

A1：NS
A3：NS

図面番号

A-01

特記事項

株式会社ディナック中日本

Design Room：山梨県甲府市相道1-5-15-2F
TEL：(055)・220・7600
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

[illegible]

4-2 外壁 改修工事 コンクリート 打ちし仕上げ 外壁	1 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.2.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※130 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) [4.2.4] 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法:) [4.2.5] ・Uカットシール材充填工法 [4.2.6] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・シーリング材 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 [4.2.7]	4-4 外壁 改修工事 タイル張り 仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去 [4.4.2] 2 ひび割れ部改修工法 [4.2.5] 3 欠損部改修工法 [4.2.8]	外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで (コンクリート表面まで) ・張付けモルタルまで ・タイルのみ 改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.2.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※130 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入材料 [4.2.4] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法:) [4.2.5] ・Uカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面) [4.2.6] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・シーリング材 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 [4.2.7]	4-5 外壁 改修工事 塗り仕上げ 外壁	1 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.5.4] [表4.5.4～7] 2 下地調整 [4.2.4] 3 仕上塗材仕上げ [4.2.4] 仕上塗材の種類、仕上げの形状等 [4.5.2] [表4.5.1] 種 類 呼び名 仕上げの形状等 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材S ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・可とう形改修用仕上塗材 ・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE ・マステック塗料塗り [4.6.1] [4.6.2] ・外装用塗膜防水材塗り [4.7.1] [4.7.2] [表4.7.1] 防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。 建築基準法に基づく認定を受けたものとする。	⑤ 建具 改修工事	① 改修工法 [5.1.3] 2 防火戸 [5.1.4] 3 見本の製作等 [5.1.5] 4 その他 [5.1.7] 5 アルミニウム製建具 [5.2.2] [表5.2.1] 性能及び構造 表5.2.1 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ※図示 ・B種 S-5 ・ ※ ・C種 S-6 A-4 W-5 特記による。 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () 断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () 形状及び仕上げ ・枠、かまち等を用いるアルミニウム枠の厚さは、1. 5mm以上とする。 ・構造 (1) 枠見込み70mmの建具に用いる引違い及び片引きの障子は、ガラスのはめ込みに グレイジングチャンネルが使用できる構造とする。 (2) 外部に面する引違い窓及び片引き窓は、容易に取りがけられる構造とする。 ・結露水の処理方法は、特記による。	② 改修工法 [5.2.2] [表5.2.1] 性能及び構造 表5.2.2 表面処理の種類 種 別 表面処理 規格番号 規 格 名 称 皮膜又は複合皮膜の種類 ・AB-1種 無着色陽極酸化皮膜 ・AB-2種 着色陽極酸化皮膜 ・AC-1種 無着色陽極酸化皮膜 ・AC-2種 着色陽極酸化皮膜 ・BA-1種 無着色陽極酸化塗装複合被膜 ・BA-2種 着色陽極酸化塗装複合被膜 ・C種 化成皮膜の上に塗装 JIS H 8601 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜 AA15 AA6 JIS H 8602 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜 A2 (過酷な環境の屋外) JIS H 4001 アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付け塗装板及び条 — (注) 常温乾燥形の塗装の場合は、特記による。	③ 鋼製軽量建具 [5.5.2] [表5.5.1] 性能及び構造 表5.5.1 鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さ (単位: mm) 区分 使用箇所 厚さ ・枠類 一般部分 1.6 くつずり 1.5 (注) 表面板 0.6以上 力骨、中骨 1.6 ・戸 召合せ 鋼板 0.6以上 縦小口包み板 ステンレス鋼板 0.6以上 押縁 アルミニウム押出型材 — ・その他 縦縁、添え枠 1.6 ・補強板の類 2.3以上 (注) くつずりの材料は、5.5.3(3)による。	④ 鋼製重畳建具 [5.6.2] [表5.6.1] 性能及び構造 表5.6.1 ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さ (単位: mm) 使用箇所 厚さ 一般部分 1.5 (注) くつずり 1.5 裏板 1.6以上 補強板の類 2.3以上 (注) 特定防火設備で片面フラッシュ戸の場合は、実厚で1.5mm以上とする。	⑥ 鋼製重畳建具 [5.6.2] [表5.6.1] 性能及び構造 表5.6.1 ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さ (単位: mm) 使用箇所 厚さ 一般部分 1.5 (注) くつずり 1.5 裏板 1.6以上 補強板の類 2.3以上 (注) 特定防火設備で片面フラッシュ戸の場合は、実厚で1.5mm以上とする。	⑦ 鋼製建具 [5.4.2] [表5.4.1] 性能及び構造 表5.4.1 鋼製建具の性能等級 性能項目 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・A種 S-4 W-4 ・B種 S-5 A-4 W-5 ・C種 S-6 防音ドア、防音サッシ等する場合の遮音性の等級は、特記による。 性能及び構造 ・簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の等級は表5.4.1により、適用は特記による。 ・外部に面する鋼製建具の耐風圧性は表5.2.1により、適用は特記による。	⑧ 鋼製軽量建具 [5.5.2] [表5.5.1] 性能及び構造 表5.5.1 鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さ (単位: mm) 区分 使用箇所 厚さ ・枠類 一般部分 1.6 くつずり 1.5 (注) 表面板 0.6以上 力骨、中骨 1.6 ・戸 召合せ 鋼板 0.6以上 縦小口包み板 ステンレス鋼板 0.6以上 押縁 アルミニウム押出型材 — ・その他 縦縁、添え枠 1.6 ・補強板の類 2.3以上 (注) くつずりの材料は、5.5.3(3)による。	⑨ ステンレス製建具 [5.6.2] [表5.6.1] 性能及び構造 表5.6.1 ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さ (単位: mm) 使用箇所 厚さ 一般部分 1.5 (注) くつずり 1.5 裏板 1.6以上 補強板の類 2.3以上 (注) 特定防火設備で片面フラッシュ戸の場合は、実厚で1.5mm以上とする。	特記事項	変更事項	図面名称 特記仕様書 (3)	縮尺 A1: NS A3: NS	図面番号 A-03
4-2 外壁 改修工事 コンクリート 打ちし仕上げ 外壁	1 ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.2.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※130 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) [4.2.4] 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法:) [4.2.5] ・Uカットシール材充填工法 [4.2.6] 充填材料 品質・規格等 備 考 ・シーリング材 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 [4.2.7]	4-4 外壁 改修工事 タイル張り 仕上げ外壁	1 既存タイル張りの撤去 [4.4.2] 2 ひび割れ部改修工法 [4.2.5] 3 欠損部改修工法 [4.2.8]	外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで (コンクリート表面まで) ・張付けモルタルまで ・タイルのみ 改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.2.5] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※130 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 注入材料 [4.2.4] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) 検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取部の補修方法:) [4.2.5] ・Uカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面) [4.2																

⑤

建具改修工事

①

木製建具
(建築工事標準仕様書)

②

建具用金物

12

自動ドア開閉装置

13

自閉式上吊り引戸装置

14

重量シャッター

15

軽量シャッター

16

オーバーヘッドドア

17

ガラス

18

ガラス用フィルム

19

ガラス用フィルム

20

ガラス用フィルム

21

ガラス用フィルム

22

ガラス用フィルム

23

ガラス用フィルム

24

ガラス用フィルム

25

ガラス用フィルム

26

ガラス用フィルム

27

ガラス用フィルム

28

ガラス用フィルム

29

ガラス用フィルム

30

ガラス用フィルム

31

ガラス用フィルム

32

ガラス用フィルム

33

ガラス用フィルム

34

ガラス用フィルム

35

ガラス用フィルム

36

ガラス用フィルム

37

ガラス用フィルム

38

ガラス用フィルム

39

ガラス用フィルム

40

ガラス用フィルム

41

ガラス用フィルム

42

ガラス用フィルム

43

ガラス用フィルム

44

ガラス用フィルム

45

ガラス用フィルム

46

ガラス用フィルム

47

ガラス用フィルム

48

ガラス用フィルム

49

ガラス用フィルム

50

ガラス用フィルム

51

ガラス用フィルム

52

ガラス用フィルム

53

ガラス用フィルム

54

ガラス用フィルム

55

ガラス用フィルム

56

ガラス用フィルム

57

ガラス用フィルム

58

ガラス用フィルム

59

ガラス用フィルム

60

ガラス用フィルム

61

ガラス用フィルム

62

ガラス用フィルム

63

ガラス用フィルム

64

ガラス用フィルム

65

ガラス用フィルム

66

ガラス用フィルム

67

ガラス用フィルム

68

ガラス用フィルム

69

ガラス用フィルム

70

ガラス用フィルム

71

ガラス用フィルム

72

ガラス用フィルム

73

ガラス用フィルム

74

ガラス用フィルム

75

ガラス用フィルム

76

ガラス用フィルム

77

ガラス用フィルム

78

ガラス用フィルム

79

ガラス用フィルム

80

ガラス用フィルム

81

ガラス用フィルム

82

ガラス用フィルム

83

ガラス用フィルム

84

ガラス用フィルム

85

ガラス用フィルム

86

ガラス用フィルム

87

ガラス用フィルム

88

ガラス用フィルム

89

ガラス用フィルム

90

ガラス用フィルム

91

ガラス用フィルム

92

ガラス用フィルム

93

ガラス用フィルム

94

ガラス用フィルム

95

ガラス用フィルム

96

ガラス用フィルム

97

ガラス用フィルム

98

ガラス用フィルム

99

ガラス用フィルム

100

ガラス用フィルム

101

ガラス用フィルム

102

ガラス用フィルム

103

ガラス用フィルム

104

ガラス用フィルム

105

ガラス用フィルム

106

ガラス用フィルム

107

ガラス用フィルム

108

ガラス用フィルム

109

ガラス用フィルム

110

ガラス用フィルム

111

ガラス用フィルム

112

ガラス用フィルム

113

ガラス用フィルム

114

ガラス用フィルム

115

ガラス用フィルム

116

ガラス用フィルム

117

ガラス用フィルム

118

ガラス用フィルム

119

ガラス用フィルム

120

ガラス用フィルム

121

ガラス用フィルム

122

ガラス用フィルム

123

ガラス用フィルム

124

ガラス用フィルム

125

ガラス用フィルム

126

ガラス用フィルム

127

ガラス用フィルム

128

ガラス用フィルム

129

ガラス用フィルム

130

ガラス用フィルム

131

ガラス用フィルム

132

ガラス用フィルム

133

ガラス用フィルム

134

ガラス用フィルム

135

ガラス用フィルム

136

ガラス用フィルム

137

ガラス用フィルム

138

ガラス用フィルム

139

ガラス用フィルム

140

ガラス用フィルム

141

ガラス用フィルム

142

ガラス用フィルム

143

ガラス用フィルム

144

ガラス用フィルム

145

ガラス用フィルム

146

ガラス用フィルム

147

ガラス用フィルム

148

ガラス用フィルム

149

ガラス用フィルム

150

ガラス用フィルム

151

ガラス用フィルム

152

ガラス用フィルム

153

ガラス用フィルム

154

ガラス用フィルム

155

ガラス用フィルム

156

ガラス用フィルム

157

ガラス用フィルム

158

ガラス用フィルム

159

ガラス用フィルム

160

ガラス用フィルム

161

ガラス用フィルム

162

ガラス用フィルム

163

ガラス用フィルム

164

ガラス用フィルム

165

ガラス用フィルム

166

ガラス用フィルム

167

ガラス用フィルム

168

ガラス用フィルム

169

ガラス用フィルム

170

ガラス用フィルム

171

ガラス用フィルム

172

ガラス用フィルム

173

ガラス用フィルム

174

ガラス用フィルム

175

ガラス用フィルム

176

ガラス用フィルム

177

ガラス用フィルム

178

ガラス用フィルム

179

ガラス用フィルム

180

ガラス用フィルム

181

ガラス用フィルム

182

ガラス用フィルム

183

ガラス用フィルム

184

ガラス用フィルム

185

ガラス用フィルム

186

ガラス用フィルム

187

ガラス用フィルム

188

ガラス用フィルム

189

ガラス用フィルム

190

ガラス用フィルム

191

ガラス用フィルム

192

ガラス用フィルム

193

ガラス用フィルム

194

ガラス用フィルム

195

ガラス用フィルム

196

ガラス用フィルム

197

ガラス用フィルム

198

ガラス用フィルム

199

ガラス用フィルム

200

ガラス用フィルム

201

ガラス用フィルム

202

ガラス用フィルム

203

ガラス用フィルム

204

ガラス用フィルム

205

ガラス用フィルム

206

ガラス用フィルム

207

ガラス用フィルム

208

ガラス用フィルム

209

ガラス用フィルム

210

ガラス用フィルム

211

ガラス用フィルム

212

ガラス用フィルム

213

ガラス用フィルム

214

ガラス用フィルム

215

ガラス用フィルム

216

ガラス用フィルム

217

ガラス用フィルム

218

ガラス用フィルム

219

ガラス用フィルム

220

ガラス用フィルム

221

ガラス用フィルム

222

ガラス用フィルム

223

ガラス用フィルム

224

ガラス用フィルム

225

ガラス用フィルム

226

ガラス用フィルム

227

ガラス用フィルム

228

ガラス用フィルム

229

ガラス用フィルム

230

ガラス用フィルム

231

ガラス用フィルム

232

ガラス用フィルム

233

ガラス用フィルム

234

ガラス用フィルム

235

ガラス用フィルム

236

ガラス用フィルム

237

ガラス用フィルム

238

ガラス用フィルム

239

ガラス用フィルム

240

ガラス用フィルム

241

ガラス用フィルム

242

ガラス用フィルム

243

ガラス用フィルム

244

ガラス用フィルム

245

ガラス用フィルム

246

ガラス用フィルム

247

ガラス用フィルム

248

ガラス用フィルム

249

ガラス用フィルム

250

ガラス用フィルム

251

ガラス用フィルム

252

ガラス用フィルム

253

ガラス用フィルム

254

ガラス用フィルム

255

ガラス用フィルム

256

ガラス用フィルム

257

ガラス用フィルム

258

ガラス用フィルム

259

ガラス用フィルム

260

ガラス用フィルム

261

ガラス用フィルム

262

ガラス用フィルム

263

ガラス用フィルム

264

ガラス用フィルム

265

ガラス用フィルム

266

ガラス用フィルム

267

ガラス用フィルム

268

ガラス用フィルム

269

ガラス用フィルム

270

ガラス用フィルム

271

ガラス用フィルム

272

ガラス用フィルム

273

ガラス用フィルム

274

ガラス用フィルム

275

ガラス用フィルム

276

ガラス用フィルム

277

ガラス用フィルム

278

ガラス用フィルム

279

ガラス用フィルム

280

ガラス用フィルム

281

ガラス用フィルム

282

ガラス用フィルム

283

ガラス用フィルム

284

ガラス用フィルム

285

ガラス用フィルム

286

ガラス用フィルム

287

ガラス用フィルム

288

ガラス用フィルム

289

ガラス用フィルム

290

ガラス用フィルム

291

ガラス用フィルム

292

ガラス用フィルム

293

ガラス用フィルム

294

ガラス用フィルム

295

ガラス用フィルム

296

ガラス用フィルム

297

ガラス用フィルム

298

ガラス用フィルム

299

ガラス用フィルム

300

ガラス用フィルム

301

ガラス用フィルム

302

ガラス用フィルム

303

ガラス用フィルム

304

ガラス用フィルム

305

ガラス用フィルム

306

ガラス用フィルム

307

ガラス用フィルム

308

ガラス用フィルム

309

ガラス用フィルム

310

ガラス用フィルム

311

ガラス用フィルム

312

ガラス用フィルム

313

ガラス用フィルム

314

ガラス用フィルム

315

ガラス用フィルム

316

ガラス用フィルム

317

ガラス用フィルム

318

ガラス用フィルム

319

ガラス用フィルム

320

ガラス用フィルム

321

ガラス用フィルム

322

ガラス用フィルム

323

ガラス用フィルム

324

ガラス用フィルム

325

ガラス用フィルム

326

ガラス用フィルム

327

ガラス用フィルム

328

ガラス用フィルム

329

ガラス用フィルム

330

ガラス用フィルム

331

ガラス用フィルム

332

ガラス用フィルム

333

ガラス用フィルム

334

ガラス用フィルム

335

ガラス用フィルム

336

ガラス用フィルム

337

ガラス用フィルム

338

ガラス用フィルム

339

ガラス用フィルム

340

ガラス用フィルム

341

ガラス用フィルム

342

ガラス用フィルム

343

ガラス用フィルム

344

ガラス用フィルム

345

ガラス用フィルム

346

ガラス用フィルム

347

ガラス用フィルム

348

ガラス用フィルム

349

ガラス用フィルム

350

ガラス用フィルム

351

ガラス用フィルム

352

ガラス用フィルム

353

ガラス用フィルム

354

ガラス用フィルム

355

ガラス用フィルム

356

ガラス用フィルム

357

ガラス用フィルム

358

ガラス用フィルム

359

ガラス用フィルム

360

ガラス用フィルム

361

ガラス用フィルム

362

ガラス用フィルム

363

ガラス用フィルム

364

ガラス用フィルム

365

ガラス用フィルム

366

ガラス用フィルム

367

ガラス用フィルム

368

ガラス用フィルム

369

ガラス用フィルム

370

ガラス用フィルム

371

ガラス用フィルム

372

ガラス用フィルム

373

ガラス用フィルム

374

ガラス用フィルム

375

ガラス用フィルム

376

ガラス用フィルム

377

ガラス用フィルム

378

ガラス用フィルム

379

ガラス用フィルム

380

ガラス用フィルム

381

ガラス用フィルム

382

ガラス用フィルム

383

ガラス用フィルム

384

ガラス用フィルム

385

ガラス用フィルム

386

ガラス用フィルム

387

ガラス用フィルム

388

ガラス用フィルム

389

ガラス用フィルム

390

ガラス用フィルム

391

ガラス用フィルム

392

ガラス用フィルム

393

ガラス用フィルム

394

ガラス用フィルム

395

ガラス用フィルム

396

ガラス用フィルム

397

ガラス用フィルム

398

ガラス用フィルム

399

ガラス用フィルム

400

ガラス用フィルム

401

ガラス用フィルム

402

ガラス用フィルム

403

ガラス用フィルム

404

ガラス用フィルム

405

ガラス用フィルム

406

ガラス用フィルム

407

ガラス用フィルム

408

ガラス用フィルム

409

ガラス用フィルム

8
耐震改修工事
共通事項

1適用範囲

工事内容
・鉄筋コンクリート造骨組
・鉄筋鉄骨コンクリート造骨組及び鉄骨造骨組の耐震改修工事の鉄筋工事
・あと施工アンカー工事
・コンクリート工事
・鉄骨工事
・グラウト工事
・連続繊維補強工事
・スリット新設工事
・免震改修工事
・制震改修工事

工事種別
・施工調査（施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修）
・撤去工事（設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去（下地の一部又はすべてを含む）、構造体のはつり）
・鉄筋工事
・あと施工アンカー工事
・コンクリート工事
・鉄骨工事
・グラウト工事
・連続繊維補強工事
・スリット新設工事
・免震改修工事
・制震改修工事
・その他工事（土工事及地業工事）

8-1
撤去工事

1既存部分の撤去等

撤去範囲
※図示
既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断
※図示
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う

2既存部分の処理

既存コンクリートの目視し
適用範囲
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面

目視しの範囲
・柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全体の15～30%程度
・壁 打継ぎ面又は接合面全体の10～15%程度

目視しの程度
※平均深さ2～3mm（最大7mm）程度の凹面を、全体にわたってつける。

8-2
鉄筋工事

1鉄筋

鉄筋の種類
種類の記号呼び名（mm）
・SD295A※D16以下
・SD345※D19以下
・

2溶接金網

網目の形状、寸法等
網目の形状、寸法（縦×横）（mm）鉄線の径又は呼び名（mm）規格
※100×100※6.0JIS G 3551による
・

3鉄筋の継手及び定着

継手方法等
部位継手方法呼び名（mm）
柱、梁の主筋※ガス圧接・機械式継手
その他の鉄筋（）※重ね継手

鉄筋の重ね継手の長さ
※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。（図示）

鉄筋の定着長さ
※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。（図示）

帯筋組立の形の種別
・Ⅱ-Ⅰ形・Ⅱ-Ⅱ形・Ⅱ-Ⅲ形

4鉄筋のかぶり厚さ

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地地から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
施工箇所改修標準表8.3.6の値に加える寸法（mm）
・柱、梁、壁及び底等の外気に接する打抜き面※10
・

5壁の配筋

壁配筋の重ね継手の長さ
※壁配筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。（図示）

壁配筋の定着長さ※図示

6壁開口部の補強
耐震壁の開口部補強※図示

7ガス圧接
圧接部の確認試験※超音波探傷試験・引張試験

8既存構造体との取合い

割製補強筋
種類材料材質径本数ピッチ等適用箇所
※スパイラル筋※鉄筋コンクリート用棒鋼※SR235・※φ6h/175の径（mm）※図示
・※φ9h/175の径（mm）
・※φ10h/175の径（mm）
・※SD295A・※D10・壁面内方向筋（）
・壁面外方向筋（）
・
・
・

8-3
あと施工アンカー工事

1あと施工アンカー

材料等
・金属系アンカー
セツト方式※本体打込み式
引張耐力※図示
せん断耐力※図示
接合部の種類、径、長さ※図示
性能確認試験※実施する（試験方法及び試験数※図示）・実施しない
・接着系アンカー
アンカーの種類※カプセル型
引張耐力※図示
せん断耐力※図示
接着剤の品質※有機系・無機系
アンカー底の種類※改修標準表8.2.1の異形棒鋼・金ねじボルト
性能確認試験※実施する（試験方法及び試験数※図示）・実施しない

調査範囲
※あと施工アンカー施工部分すべて
・図示
調査方法
※鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に重出しを行う
・はつり出しによる

試験の適用
※実施する（試験方法※引張試験・）
確認強度※図示
・実施しない

種類※金属材料とあと施工アンカーの異形差筋アンカー

径（mm）※D10
既存壁への有効埋込み長さ（mm）※7d（d：シアコネクタの径）
増打ち壁への有効定着長さ（mm）
間隔（mm）※500×500

シアコネクタとセパレーターの兼用※兼用してもよい・兼用しない

2穿孔孔の埋込み配管等の探査

3施工確認試験

4シアコネクタ（現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いるシアコネクタ）

5型枠工事

1コンクリートの種類及び強度

レディーミクストコンクリートの類別※I類・II類

[8.1.3]

[8.1.4]
普通コンクリートの設計基準強度
設計基準強度F_c（N/mm²）適用箇所
・36
・
・
[8.1.4] [8.9.1] [表8.9.1]

設計基準強度F _c （N/mm ² ）	気乾単位容積質量（t/m ³ ）	種別	適用箇所
・27		・I種・2種	
・		・I種・2種	

軽量コンクリートの設計基準強度等 [8.1.4] [8.9.1] [表8.9.1]

設計基準強度

2コンクリートの品質

スランプ
スランプ（cm）適用箇所
※18
・

コンクリートの仕上り
部材の位置及び断面寸法の許容差 [8.1.4] [表8.1.3]
・
（適用箇所：）
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4] [表8.1.4]
種別適用箇所
・A種
・B種
・C種

仕上りの平たんさ [8.1.4] [表8.1.5]
・
（適用箇所：）

セメント [8.2.5] [表8.2.3]
セメントの種類

種類	適用箇所
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	
・高炉セメントB種 [G]	
・フライアッシュセメントB種 [G]	

普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定のほか、水和熱が7日目で325J/g以下、かつ、28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

骨材 [8.2.5]
細骨材及び混合細骨材
・フェロニッケルスラグ細骨材 [G]使用部位（）
・銅スラグ細骨材 [G]使用部位（）
・電気炉酸化スラグ細骨材使用部位（）
砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分※A・B
砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分※A・B

混和材料 [8.2.5]
種類※混和剤・混和材
混和材料の使用量※改修標準表8.5.8(a)、(b)、(c)による

コンクリート強度の気温による補正值 (6.3.2)
室内の工事における温度補正・行う・行わない

設計基準強度等 (6.14.1～3)

種類	設計基準強度（N/mm ² ）	スランプ（cm）	粗骨材の最大寸法（mm）	適用箇所
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25	
・軽量コンクリート	・	・	・20	

セメントの種類
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種 [G]捨コンクリート

6高い強度のコンクリート

設計基準強度
設計基準強度F_c（N/mm²）
・27・30・33・36

適用箇所

[8.1.4]

[8.2.5]

混和材料
※混和剤
※高性能AE減水剤標準形又は遅延形

種類
・断熱材用型枠
・木質系
・コンクリート系
・プラスチック系

施工箇所
※壁（図示の範囲）
・

厚さ（mm）
※40以下
・

品質等
断熱抵抗
＝厚さ／熱伝導率
＝0.676以上
（m²・K/W）

製造所 建設技術評価「建築物の断熱材用型枠工法の開発」において、評価を取得したものの

部位ごとのコンクリート打込み工法の指定
補強工法打込み工法部位
現場打ち鉄筋コンクリート
・流し込み工法[8.19.8(a)(1)及び(b)]
・圧入工法[8.19.8(a)(2)及び(c)]
・
・
鉄筋コンクリート柱の溶接
・流し込み工法[8.19.8(a)(1)及び(b)]
・圧入工法[8.19.8(a)(2)及び(c)]
・
・
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等
柱脚柱脚の隣間部間の型枠
※発泡プラスチック保温材等を埋め込む

柱脚柱脚の間寸法※図示
既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ※図示

7断熱材用型枠

8コンクリートの打込み工法等

8-5
鉄骨工事

1鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国縦横工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める（）グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承諾する工場

2入熱、バスの温度の溶接条件
鉄骨溶接基準因による
適用箇所※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
・図示（）

3施工管理技術者
※適用する・適用しない [8.1.6] [8.15.2]

4鋼材
鋼材の材質等 [8.2.8] [表8.2.7]

種類の記号	適用箇所	規格等
		※JISによる
		※JISによる
		※JISによる
		※JISによる

5高力ボルト
ボルトの区分
※トルシリアル高力ボルト
・JIS形高力ボルト
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※（別2-1.1～1.3）による
すべり係数試験
※行わない・行う（試験方法等：）
[8.2.9]
[8.14.2]

6溶融亜鉛めっき高力ボルト
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※（別2-1.1～1.3）による
摩擦面の処理
※ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法※すべり耐力試験方法等・図示
[8.2.9]（別2-1.1～1.3）
[7.4.2]

7普通ボルト
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※（別2-1.1～1.3）による
[7.2.3]（別2-1.1～1.3）

8アンカーボルト
アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種類
・構造用（※図示・）
・建方用（・A種※B種・C種）
柱底均しモルタルの工法の種類
※A種・B種
[7.10.3]（表7.10.1）
[7.10.3]（表7.10.2）

9鉄骨工作仮組
・行う※行わない [8.13.10]

10溶接溶接
開先の形状※鉄骨溶接基準因による [8.15.4]（別2-3.1～3.4）
鋼製エンドタブの切除する部分※図示 [8.15.7]
スカラップの形状※鉄骨溶接基準因による [8.15.7]

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験※行う・行わない [8.15.11]
放射線透過試験※行わない・行う [8.15.11]
マクロ試験（エンドタブ使用）※行わない・行う [8.15.11]

呼び名等

呼び名	呼び長さ（mm）	適用箇所
・16		
・19		
・22		

耐火被覆材の接着する面の塗装
・行う（※JIS K 5622・）※行わない [8.17.2]

8-6
グラウト工事

1モルタル及びグラウト材
構造体用モルタル
※[8.2.6]による
柱底均しモルタル
※無収縮モルタル
グラウト材
※無収縮グラウト材（セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる）

無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次による
無収縮モルタルの材料及び調査

混和材セメント系（酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメントJIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂（社）土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比（各重量比）（セメント＋混和材）：砂＝1：1
無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10]

コンステンション	Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒
フリーディング	練混ぜ2時間後のフリーディング率 2.0%以下
凝結開始時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内
無収縮性	材齢 7日 収縮しないこと
圧縮強度	材齢 3日 25.0 N/mm ² 以上 材齢 28日 45.0 N/mm ² 以上
付着強度	材齢 28日 3.0 N/mm ² 以上
塩化物質	0.30kg/m ³ 以上
試験方法	(1) 日本道路公団規格JIS 312-1999（無収縮モルタル品質管理試験方法）による。 (2) 塩化物質は、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）の9.6塩化物含有量の試験方法による。

無収縮グラウト材の材料（プレミックス粉及び現場調合形）
混和材セメント系（酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメントJIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。
砂（社）土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。
無収縮グラウト材の品質及び試験方法（現場調合形においては標準使用量・配合値）

コンステンション	Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒
フリーディング	練混ぜ2時間後のフリーディング率 2.0%以下
凝結開始時間	凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内
無収縮性	材齢 7日 収縮しないこと
圧縮強度	材齢 3日 20.0 N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm ² 以上
付着強度	材齢 28日 2.5 N/mm ² 以上
塩化物質	0.30kg/m ³ 以上
試験方法	(1) 日本道路公団規格JIS 312-1999（無収縮モルタル品質管理試験方法）による。 なお、プレミックス粉と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみ試験を行う。 (2) 塩化物質は、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）の9.6塩化物含有量の試験方法による。

8-7
連続繊維補強工事

1連続繊維補強工法

連続繊維補強工法 [8.24.1]
・「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」（財）日本建築防災協会発行）の第4章「補強工事の施工」による工法又は同等の性能を有する工法
・（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法

2連続繊維シート

連続繊維の材料 [8.24.5]
・炭素繊維・アラミド繊維・ガラス繊維
連続繊維の材質 [8.24.6]
引張強度（含浸硬化後）（）N/mm
ヤング係数（含浸硬化後）（）N/mm
繊維目付量（）g/m²
シート厚さ（）mm
シート張り方向※図示
定着方法※図示
含浸接着樹脂・低臭型
プライマー・低臭型
断面修復材
下地調整剤

下地処理 [8.24.6]
仕上りモルタルの除去※行う・行わない
下地処理の範囲※図示
下地処理の程度※図示
柱の隅角部の面取り
箇所※図示
大きさ※図示
下地調整※行う
ひび割れ部改修※行う・行わない [8.24.6]
種類及び部位※図示
引張強度試験※行う・行わない [8.24.6]
試験数量※図示
付着強度試験※行う・行わない [8.24.6]
試験数量※図示

特記事項

変更事項

図面名称

特記仕様書（6）

縮尺

A1：NS
A3：NS

図面番号

A-06

設計年月：2025.03

工事名称

（仮称）山梨県国中消防共同指令センター整備工事

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

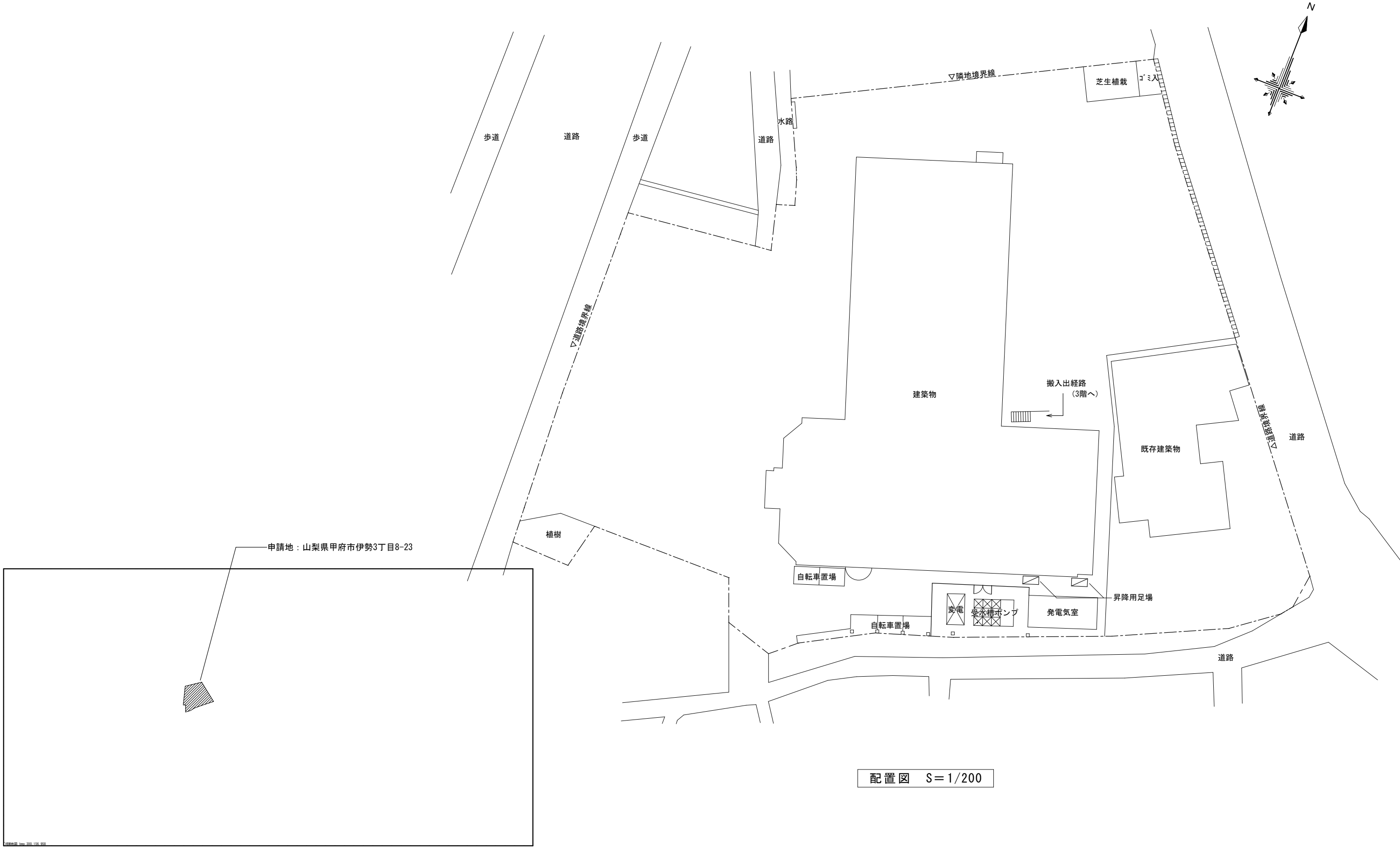
設計者

山梨県知事登録第1-031984号
一般建築士第217345号中込秀

設計者

山梨県知

[illegible]



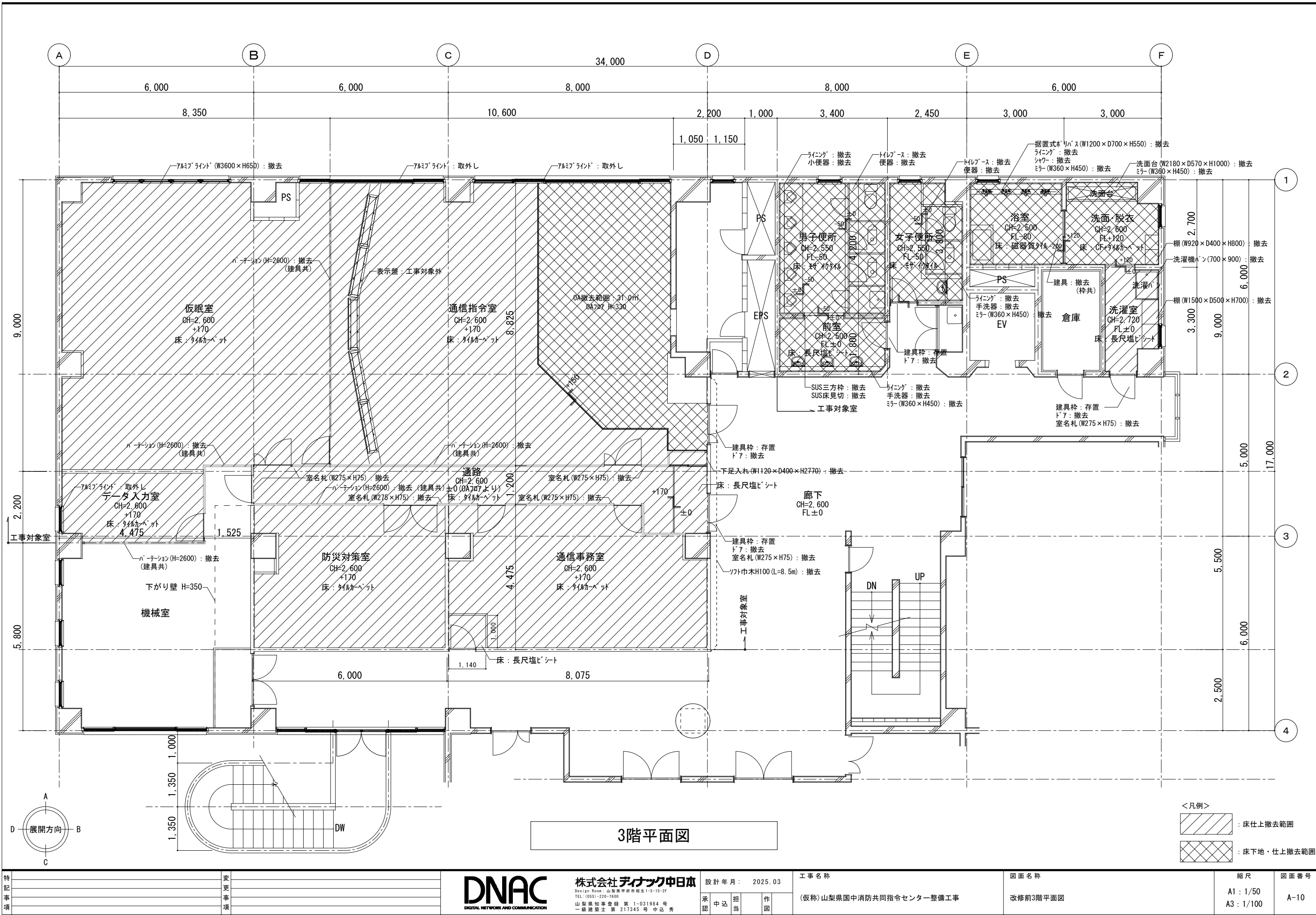
案内図

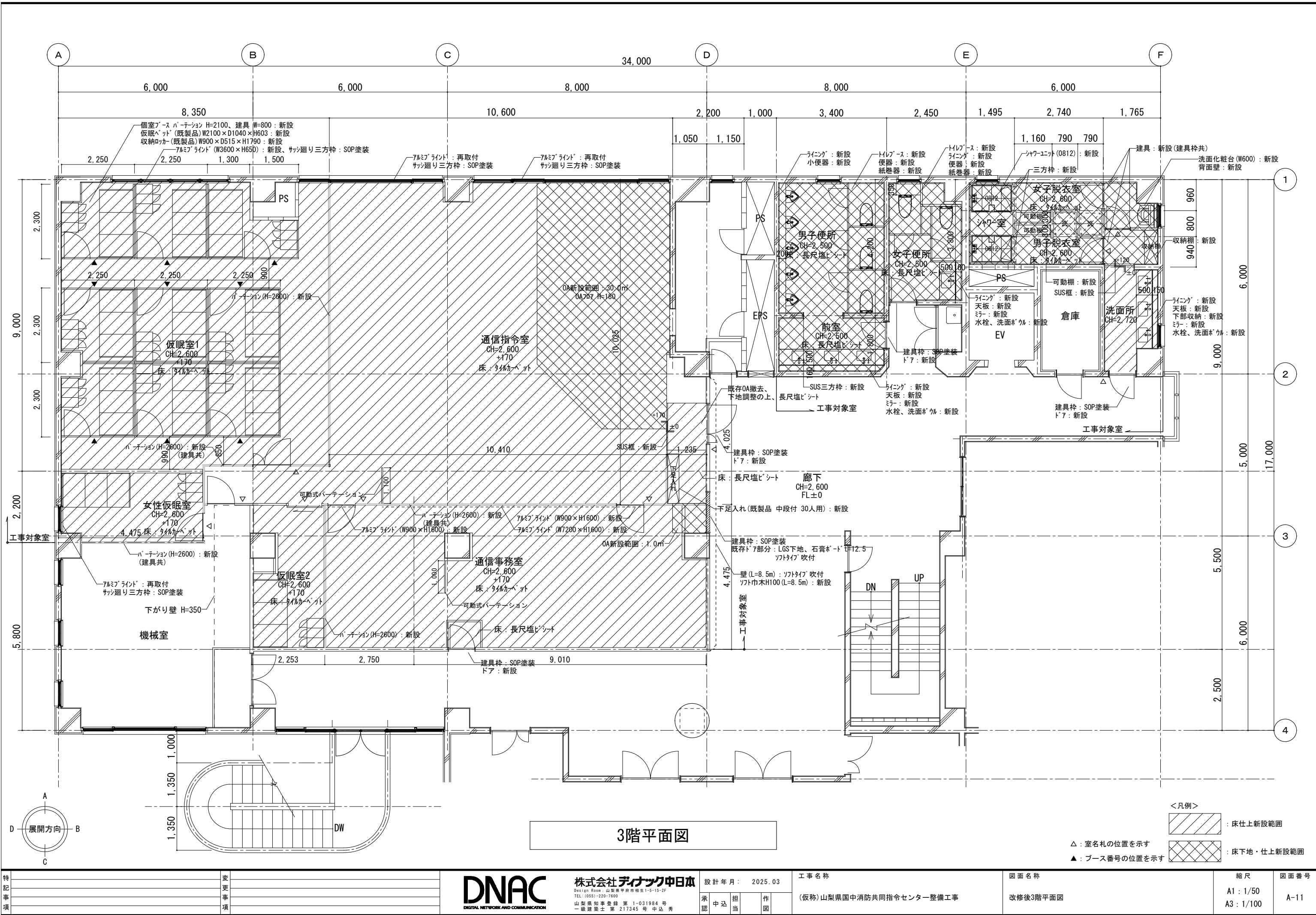
配置図 S=1/200

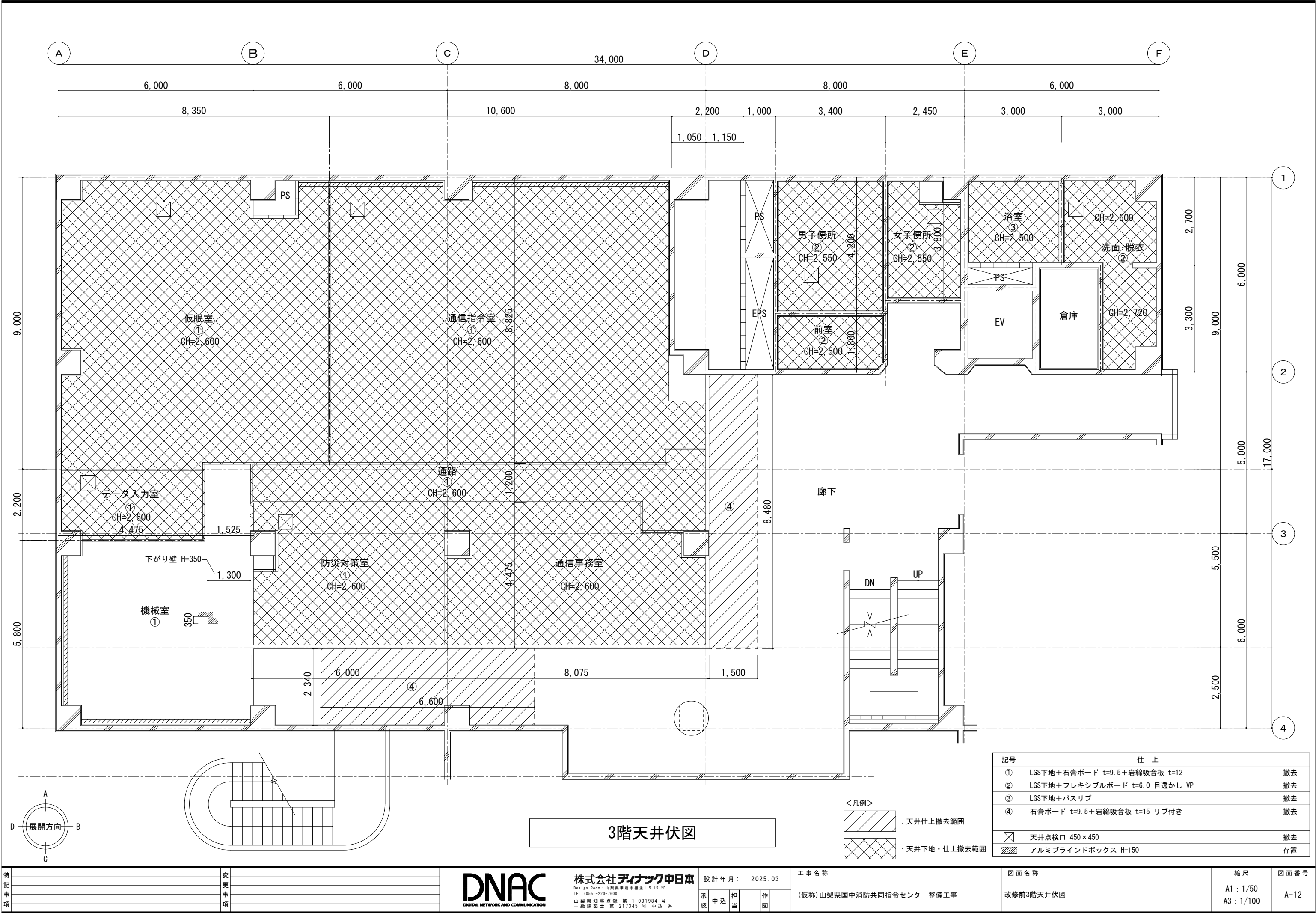
特 記 事 項	変 更 事 項		<div><div>DNAC</div><div>DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION</div></div> <div>株式会社 ディナック 中日本</div> <div>Design Room: 山梨県甲府市穂生1-5-15-2F</div> <div>TEL: (055)-220-7600</div> <div>山梨県知事登録 第 1-031984 号</div> <div>一級建築士 第 217345 号 中込 秀</div>	設計年月: 2025.03			工事名称 (仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事	図面名称 案内図・配置図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A-08	
				承認	中込	担当					作図

内 部 仕 上											
部屋名			床	巾木	壁	廻り縁		天井	CH	備考	
通信指令室	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】/一部フリーアクセスフロア【撤去】 タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	モルタル【存置】 ソフトタイブ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	可動式パーテーション W1100×H1500【新設】 下足入れ：既製品 中段付 30人用 ※三島精機 BST5-6HKM同等品【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア/一部フリーアクセスフロア【新設】 タイルカーペット【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル ソフトタイブ吹付【新設】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	アルミブラインド【再取付】
通路	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】/モルタル金ゴテ【存置】 タイルカーペット【撤去】/長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	ー パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	
	改修工事	下地 仕上			下地 仕上			下地 仕上			
通信事務室	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】/モルタル金ゴテ【存置】 タイルカーペット【撤去】/長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイブ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	室名札：SUSフレーム室名札（側面型）×3 ※フジタ FKY81同等品【新設】 可動式パーテーション W1000×H1500【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア/一部フリーアクセスフロア【新設】/既存モルタル金ゴテ タイルカーペット【新設】/長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5 ソフトタイブ吹付【新規】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	アルミブラインド ※タチカワブラインド シルキーRDS同等品【新設】
防災対策室	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】 タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイブ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	
	改修工事	下地 仕上			下地 仕上			下地 仕上			
仮眠室 1・2	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】 タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイブ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	室名札：SUSフレーム室名札（側面型）×1 ※フジタ FKY81同等品【新設】 室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×1 ※フジタ FK81同等品【新設】 個室ブース：パーテーション H=2000、建具 W=800【新設】 フース番号：カッティングシート×9箇所【新設】 仮眠ベッド（既製品）×10、収納ロッカー 鍵付（既製品）×10【新設】 アルミブラインド ※タチカワブラインド シルキーRDS同等品【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア タイルカーペット【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5 ソフトタイブ吹付【新規】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	
データ入力室 ↓	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】 タイルカーペット【撤去】	木製巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ビニルクロス貼り【撤去】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×1 ※フジタ FK81同等品【新設】 仮眠ベッド（既製品）×1、収納ロッカー 鍵付（既製品）×1【新設】
女性仮眠室	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア タイルカーペット【新設】	木製巾木 H=60【新設】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5 ビニルクロス貼り【新設】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	アルミブラインド【再取付】
男子便所	現況	下地 仕上	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30【撤去】 モザイクタイル 50角貼り【撤去】	半磁器質タイル 100角【撤去】	下地 仕上	モルタル【存置】/ライニング：CB t=100【撤去】 半磁器質タイル 100角貼り【撤去】/ライニング：半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,550 (FL-50)	トイレブース【新設】 SUS三方枠【新設】
	改修工事	下地 仕上	置床下地 H=70、捨張合板 t9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイブ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,500 (FL±0)	甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 小便器、洋風便器、紙巻器【新設】（機械設備工事）
前室	現況	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=90【撤去】	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】/ライニング：CB t=100【撤去】 ソフトタイブ吹付【存置】/ライニング：半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,500 (FL±0)	甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 建具枠：SOP塗装、ドア【新設】 天板：マープライトカウンター【新設】（機械設備工事） ミラー【新設】（機械設備工事）
	改修工事	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイブ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,500 (FL±0)	水栓、洗面ボウル【新設】（機械設備工事）
女子便所	現況	下地 仕上	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30【撤去】 モザイクタイル 50角貼り【撤去】	半磁器質タイル 100角【撤去】	下地 仕上	モルタル【存置】/ライニング：CB t=100【撤去】 半磁器質タイル 100角貼り【撤去】/ライニング：半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,550 (FL-50)	トイレブース【新設】 甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 建具枠：SOP塗装、ドア【新設】 天板：マープライトカウンター【新設】（機械設備工事） ミラー【新設】（機械設備工事）
	改修工事	下地 仕上	置床下地 H=70、捨張合板 t9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイブ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,500 (FL±0)	洋風便器、紙巻器、水栓、洗面ボウル【新設】（機械設備工事）
浴室 ↓	現況	下地 仕上	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30【撤去】 磁器質タイル 50角貼り【撤去】	ー	下地 仕上	モルタル【存置】 半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 バスリブ【撤去】	2,500 (FL-80)	シャワーユニット 0812【新設】 三方枠(浴室ドア)【新設】
シャワー室	改修工事	下地 仕上	既存モルタル下地調整 シャワーユニット 0812【新設】	ー	下地 仕上	既存モルタル下地調整 シャワーユニット 0812【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	ー シャワーユニット 0812【新設】	ー	
洗面・脱衣 ↓	現況	下地 仕上	モルタル金ゴテ【撤去】 CF t=2.3【撤去】、タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 ソフトタイブ吹付【存置】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,600 (FL+120)	共通事項：可動棚 W1050×D300×5段 ポリ合板フラッシュ ※取付金物一式共【新設】 室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×2 ※フジタ FK81同等品【新設】 ドア（建具枠共）【新設】
女子脱衣室 男子脱衣室	改修工事	下地 仕上	置床下地 H=110、捨張合板 t9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	新規壁部分：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 ソフトタイブ吹付【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,600 (FL+120)	女子脱衣室：洗面化粧台 W750【新設】(機械設備工事) 男子脱衣室：収納棚 W1030×D400×H1200【新設】
洗濯室 ↓	現況	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 ソフトタイブ吹付【存置】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,720 (FL±0)	室名札：SUSフレーム室名札（側面型）×1 ※フジタ FKY81同等品【新設】 甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 天板：マープライトカウンター【新設】（機械設備工事） 下部収納：フロントパネル扉式【新設】（機械設備工事） ミラー【新設】（機械設備工事）
洗面所	改修工事	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイブ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,720 (FL±0)	水栓、洗面ボウル【新設】（機械設備工事）
廊下	現況	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 長尺塩ビシート t=2.5【存置】	ソフト巾木 H=100【撤去】 （一面のみ）	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイブ吹付【存置】	塩ビ製【撤去】 （天井改修範囲）	下地 仕上	LGS下地【存置】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板リブ付き t=15【撤去】	2,600 (FL±0)	室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×1 ※フジタ FK81同等品【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 既存長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木 H=100【新設】 （一面のみ）	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイブ吹付【新設】一面のみ	塩ビ製【新設】 （天井改修範囲）	下地 仕上	LGS下地 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板リブ付き t=15【新設】	2,600 (FL±0)	
備 考											
【施工数量調査】 工事着手後、速やかに施工数量調査を行い、監理者へ報告すること。 設計では下記数量を見込むが、施工数量調査の結果を踏まえ、改修対象数量を協議により決定する。 【事前調査による補修概要】 クラック補修 (0.2mm未満) ：シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填工法 クラック補修 (0.2mm以上) ：Uカットシーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填工法				《改修範囲共通工事》 ①サッシ廻りクラック補修 ②可動棚設置壁面はコンパネ下地とする。							

特記事項		変更事項		<div><div>DNAC</div><div>DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION</div></div>	株式会社 ディナック 中日本 Design Room：山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL：055-220-7600 山梨県知事登録 第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月： 2025.03	工事名称 (仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 仕上表	縮尺 A1：NS A3：NS	図面番号 A-09
						承認 中込 担当 作図				







特 記 事 項	変 更 事 項



株式会社 **ディナック** 中日本
Design Room : 山梨県甲府市箱生1-5-15-2F
TEL : (055)-220-7600
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

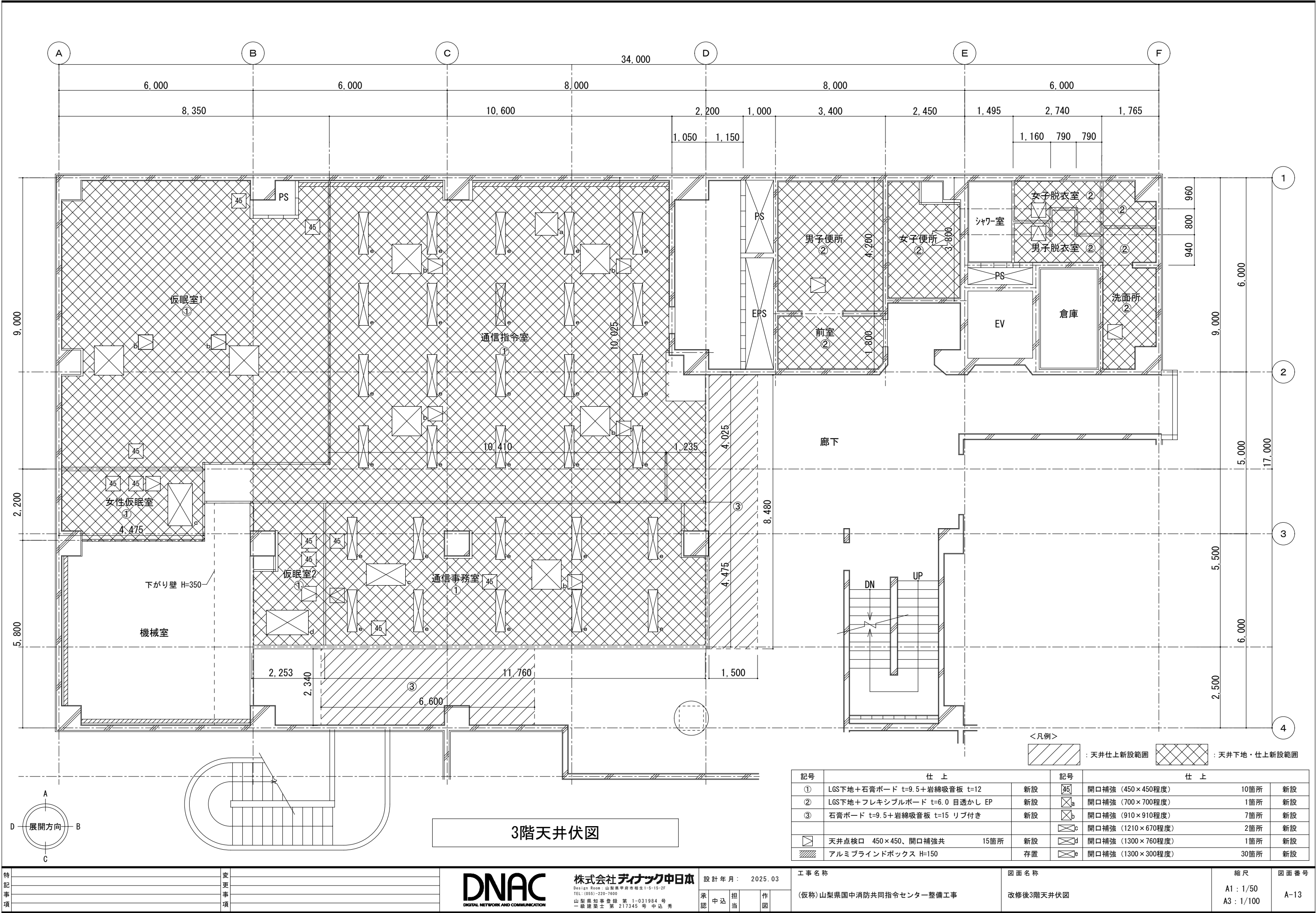
設計年月：		2025.03	
承認	中込	担当	作図

工事名称
(仮称) 山梨県中消防共同指令センター整備工事

図面名称
改修前3階天井伏図

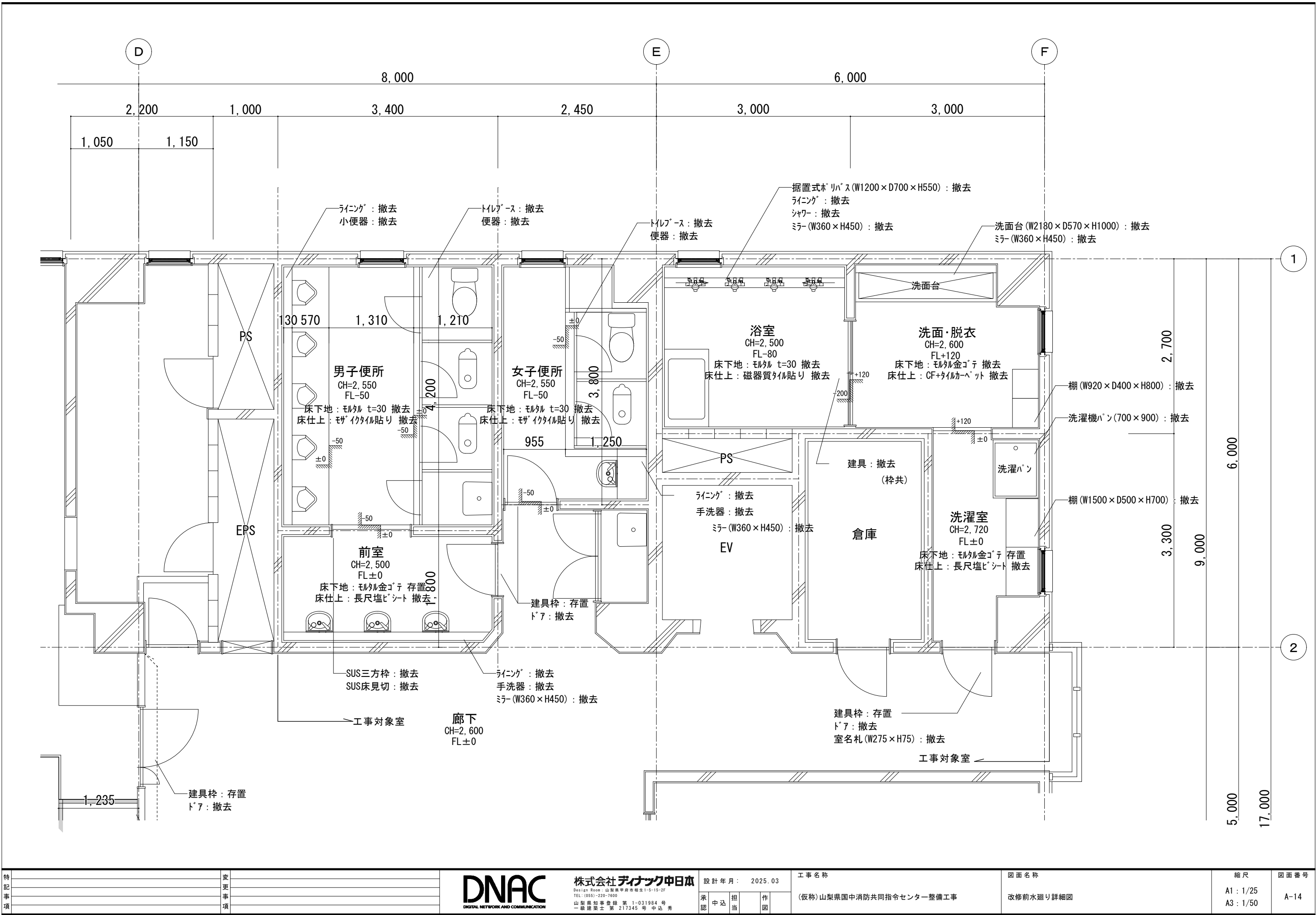
縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100

図面番号
A-12

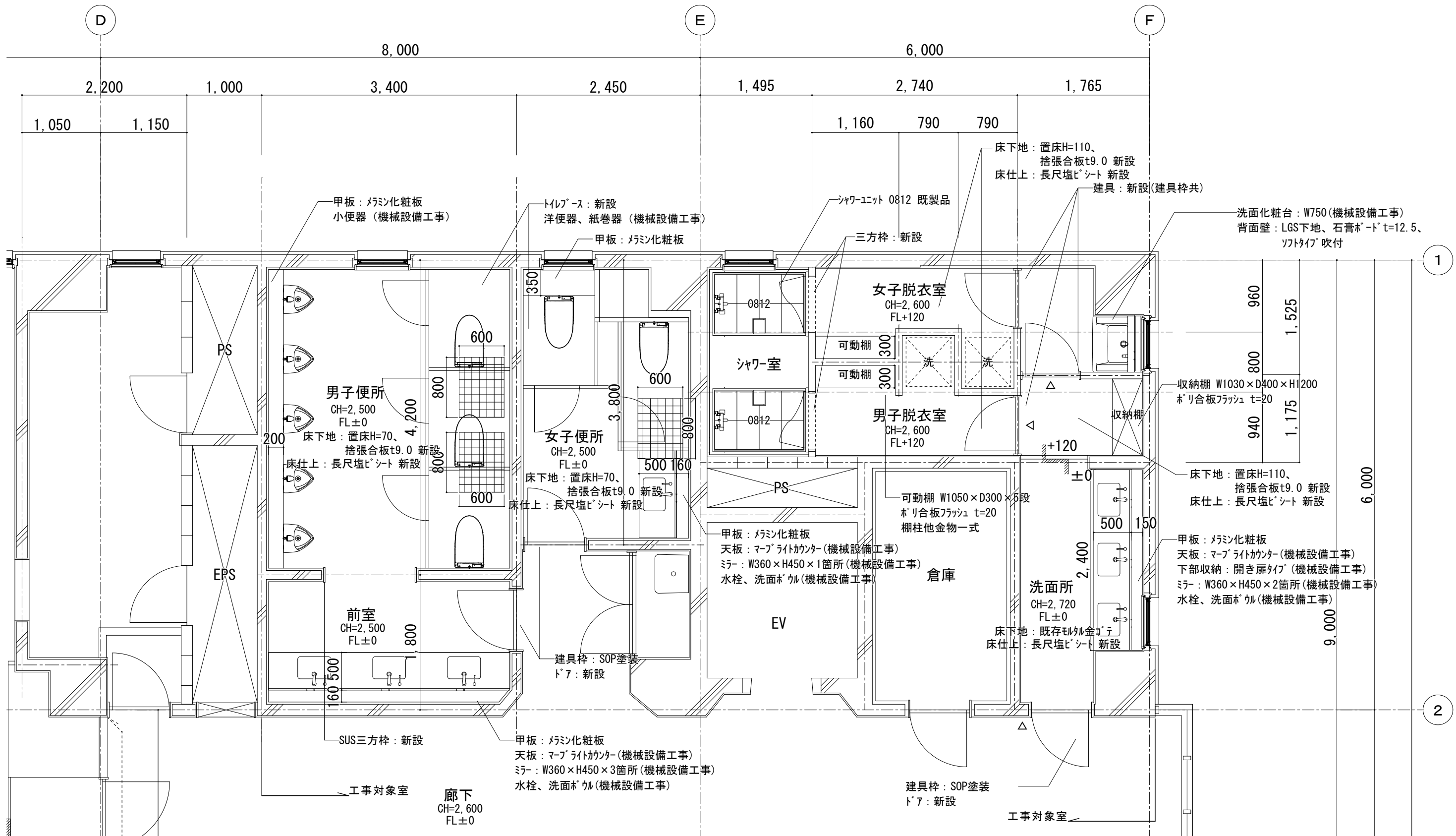


3階天井伏図

記号	仕 上	記号	仕 上
①	LGS下地+石膏ボード t=9.5+岩綿吸音板 t=12	新設	開口補強 (450×450程度) 10箇所
②	LGS下地+フレキシブルボード t=6.0 目透かし EP	新設	開口補強 (700×700程度) 1箇所
③	石膏ボード t=9.5+岩綿吸音板 t=15 リブ付き	新設	開口補強 (910×910程度) 7箇所
			開口補強 (1210×670程度) 2箇所
			開口補強 (1300×760程度) 1箇所
			開口補強 (1300×300程度) 30箇所
	天井点検口 450×450、開口補強共 15箇所	新設	
	アルミブラインドボックス H=150	存置	



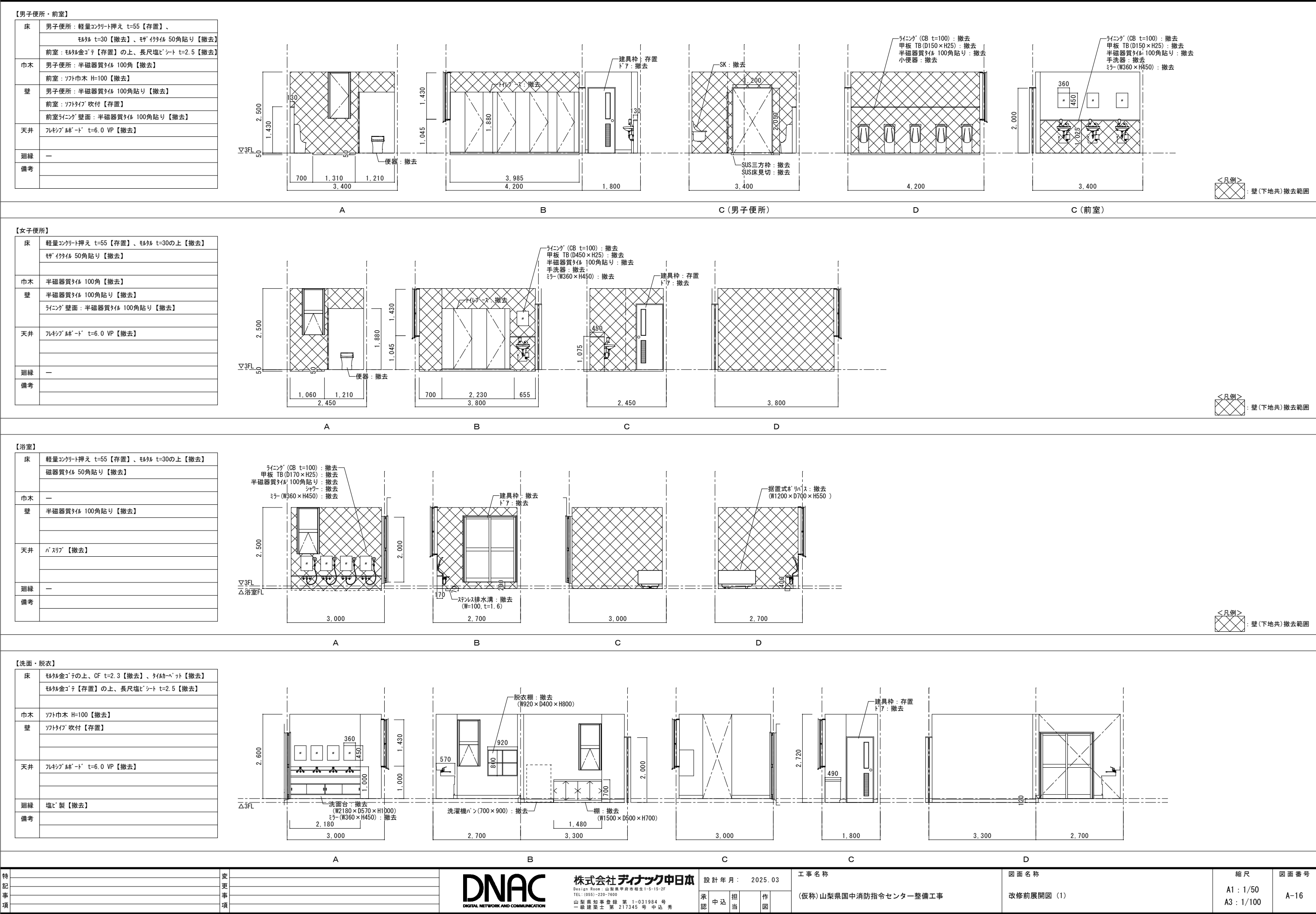
特 記 事 項	変 更 事 項	DNAC DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION	株式会社 ディナック 中日本 Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL : (055) 220-7600 山梨県知事登録 第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月: 2025.03		工事名称 (仮称) 山梨県山中消防共同指令センター整備工事	図面名称 改修前水廻り詳細図	縮尺 A1 : 1/25 A3 : 1/50	図面番号 A-14
				承認	中込				
				担当	作図				



△：室名札の位置を示す

和便器撤去後補修箇所
スラブはつり(既存鉄筋部分まで)
ワイヤメッシュφ6 網目100
コンクリート充填

特 記 事 項	変 更 事 項	<div>DNAC</div> <div>DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION</div>	株式会社 ディナック 中日本 <small>Design Room：山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL：(055)-220-7600 山梨県知事登録 第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀</small>	設計年月： 2025.03		工事名称 (仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 改修後水廻り詳細図	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	図面番号 A-15
				承認	中込				
				担当	作図				



【通信指令室】

床	フリーアセスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイル吹付【存置】 スチールパーティション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	ブラインドボックス【取外し】

2,600

180

10,600

870

ブラインドボックス：存置
78mmブラインド：取外し

ブラインドボックス：存置
78mmブラインド：取外し

150

0A207 H=350：撤去

A

8,795

1,715

870

表示盤：工事対象外

B

【 】

床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

2,600

180

11,645

870

パーティション(H=2600)：撤去
(建具共)

0A207 H=350：撤去

1,155607801,2001,2001,2001,2001,2001,2001,200

C

9,000

1,715

870

表示盤：工事対象外

D

【通路】

床	フリーアセスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】 マルチ金コテ【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイル吹付【存置】 スチールパーティション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	—
備考	

2,600

170

14,000

2,770

パーティション(H=2600)：撤去
(建具共)

下足入れ：撤去
(W1120×D400×H2770)

1,2001,2001,2001,2001,2001,2001,2001,2001,20078060

A

2,145

2,770

870

表示盤：工事対象外

B

【 】

床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

2,600

170

14,000

870

パーティション(H=2600)：撤去
(建具共)

1,260609001,2001,2009009001,2001,70090090090090040060

C

1,200

870

24060

870

パーティション(H=2600)：撤去
(建具共)

パーティション(H=2600)：撤去
(建具共)

D

特記事項

変更事項

DNAC

株式会社ディナック中日本

Design Room：山梨県甲府市箱生1-5-15-2F
TEL：(055)-220-7600
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月：2025.03

承認中込担当作図

工事名称

(仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事

図面名称

改修前展開図 (2)

縮尺

A1：1/50
A3：1/100

図面番号

A-17

【通信事務室】

床	フリアクセスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ 吹付【存置】 スチールパネーション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	

2.600

170

8659009001,2001,200900

6,053

4.475

8,075

1,000

4.475

＜凡例＞

：壁(下地共)撤去範囲

A

B

C

D

【防災対策室】

床	フリアクセスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ 吹付【存置】 スチールパネーション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	

2.600

170

3659009009009001,700220

6,000

4.475

6,000

4,475

＜凡例＞

：壁(下地共)撤去範囲

A

B

C

D

【データ入力室】

床	フリアクセスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	木製巾木 H=90【撤去】
壁	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】、ビニルクロス貼り【撤去】 スチールパネーション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	ブラインドボックス【取外し】

2.600

170

318900900

2,200

4.475

1,030900900900

4,475

2,200

2,600

170

9009009001,03060500900

6,000

1,200

850

下がり壁

＜凡例＞

：壁(下地共)撤去範囲

A

B

C

D

A'（機械室）

【 】

床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

特記事項

変更事項

DNAC

株式会社ディナック中日本

Design Room：山梨県甲府市穂生1-5-15-2F
TEL：(055)-220-7600
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月：2025.03

工事名称

図面名称

縮尺

図面番号

承認

中込

担当

作図

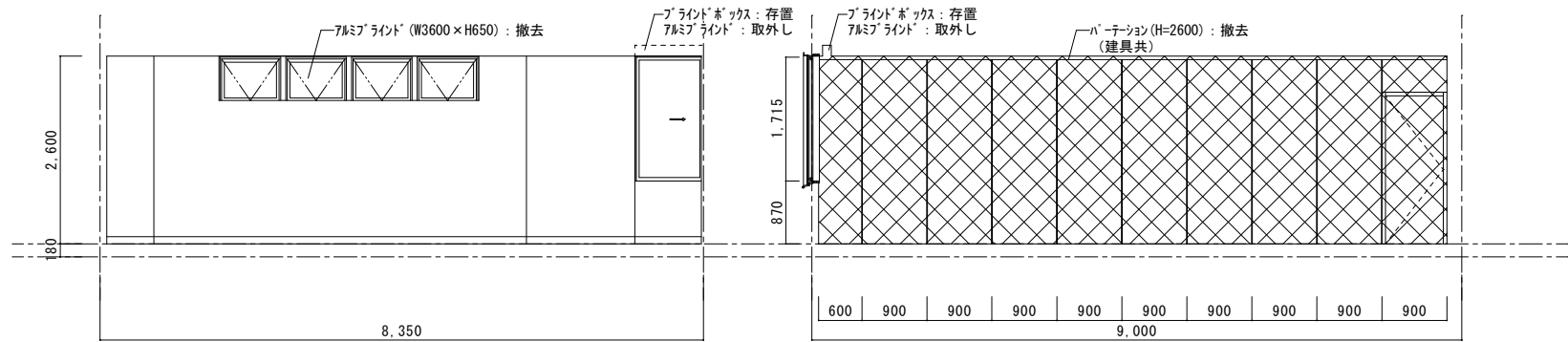
(仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事


改修前展開図 (3)

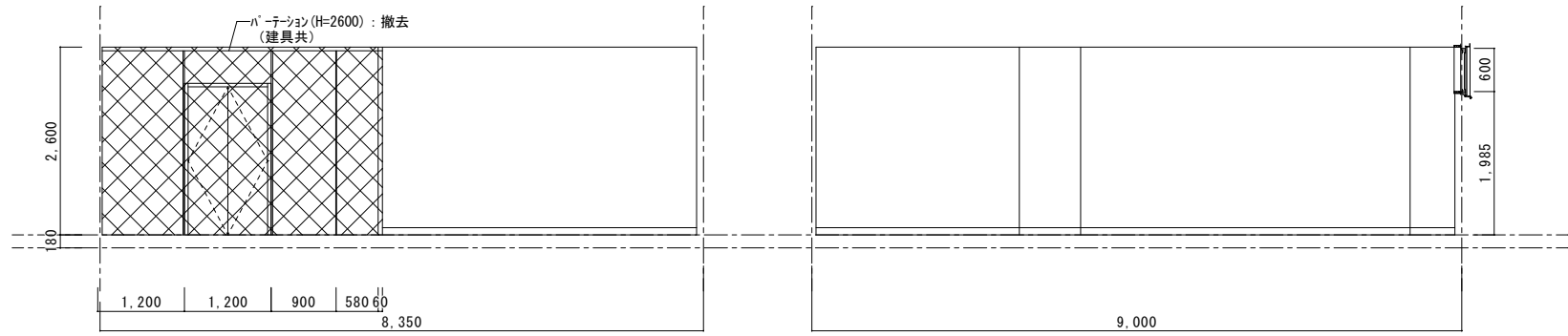
A1：1/50
A3：1/100


A-18

【仮眠室】	
床	フリアクセフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイプ 吹付【存置】
	スチールパネーション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	ブラインドボックス【取外し】

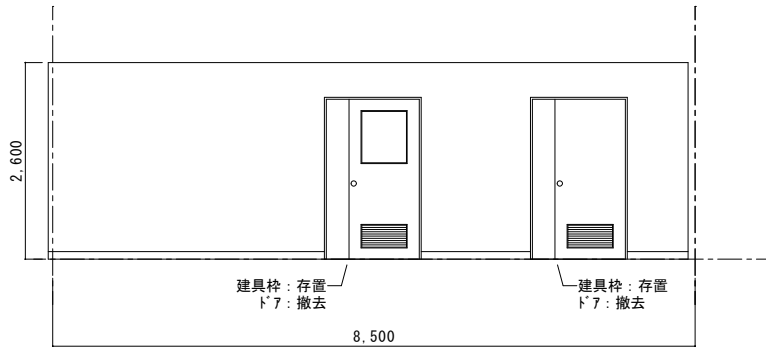


<凡例>
 : 壁(下地共)撤去範圍

[illegible]

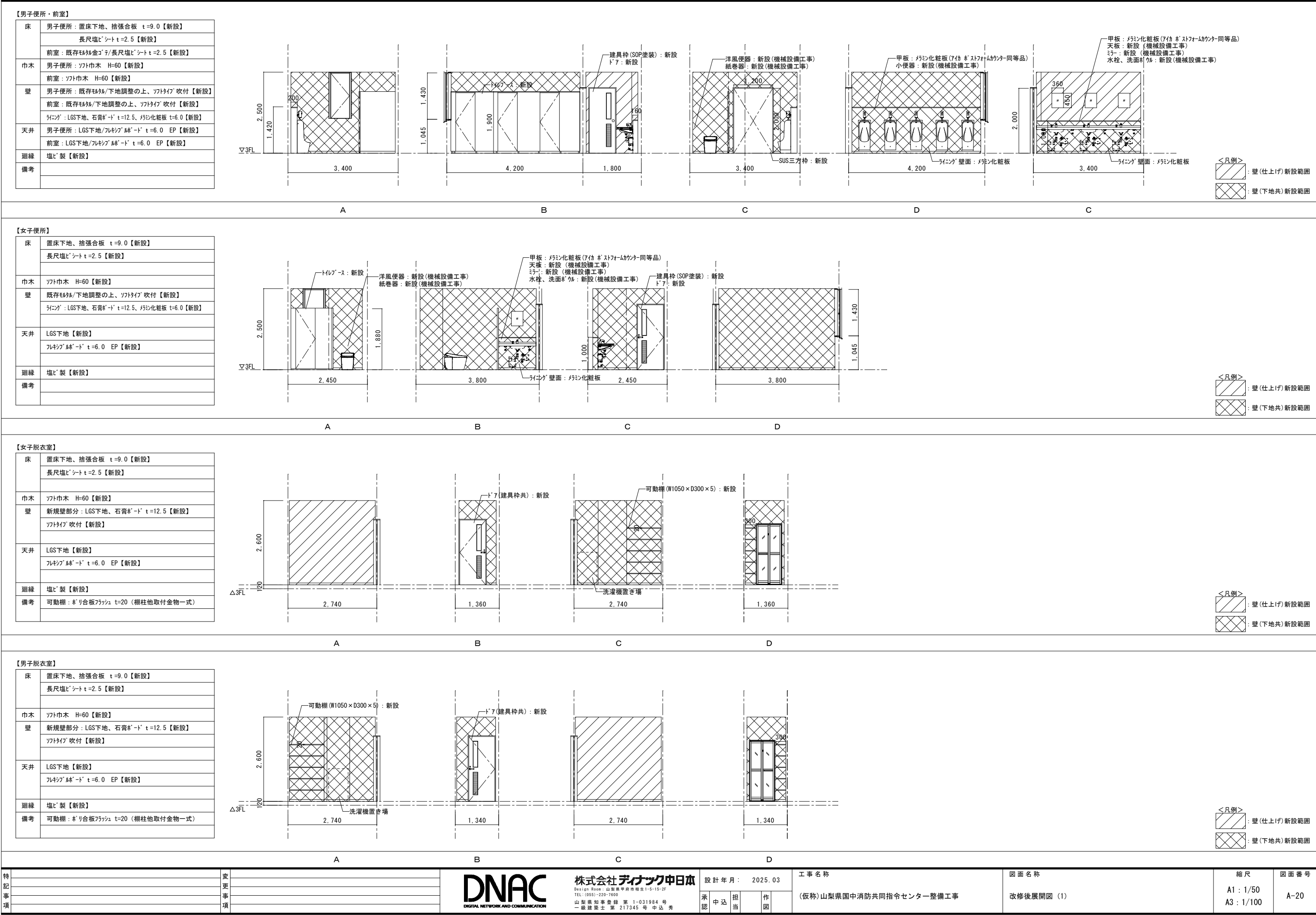

 : 壁(下地共)撤去範圍

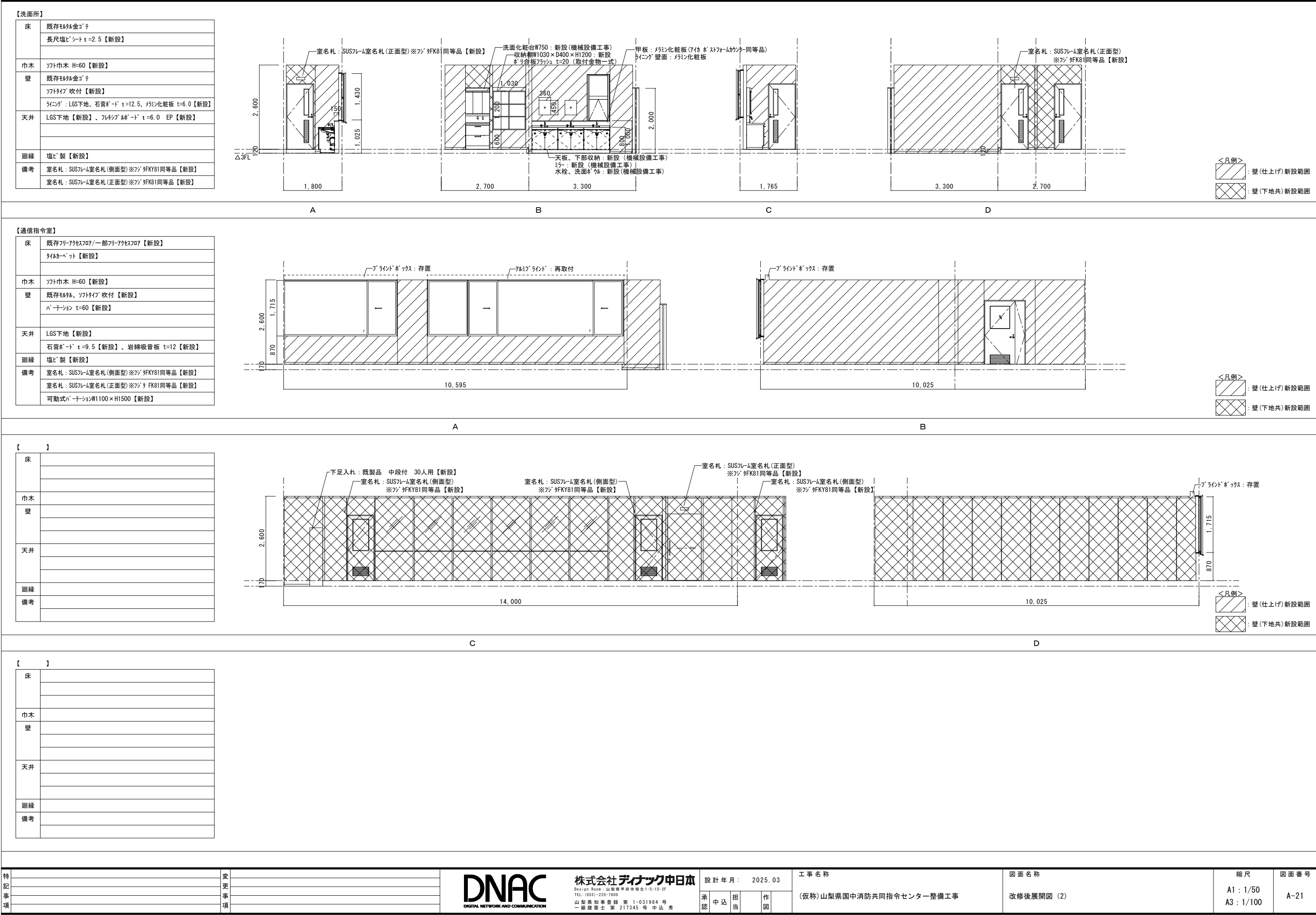
【廊下】	
床	珪藻土金網【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【存置】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイプ 吹付【存置】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【存置】
備考	



床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

特 記 事 項	変更事項	 株式会社ディナック中日本 <small>Design Room : 山梨県甲府市相違1-5-15-2F TEL: (055)-220-7600 山梨県知事登録 第1-031984号 一級建築士 第217345号 中込 秀</small>	設計年月: 2025.03					工事名称 (仮称) 山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 改修前展開図 (4)	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	図面番号 A-19
			承認	中込	担当	作図					





【通信事務室】

床	既存フリースタッド/一部フリースタッド【新設】/既存モルタル
	タイルベット【新設】/長尺塩ビシート t=2.5【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5
	ソフトアイア吹付【新設】/パネーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】
	石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUSアルミ室名札(側面型)※フキキ81同等品【新設】
	可動式パネーションW1000×H1500：新設

A

B

【

】

床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

A

B

【仮眠室2】

床	既存フリースタッド
	タイルベット【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5、ソフトアイア吹付【新設】
	パネーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】
	石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUSアルミ室名札(側面型)※フキキ81同等品【新設】

A

B

C

D

【女性仮眠室】

床	既存フリースタッド
	タイルベット【新設】
巾木	木製巾木 H=60【新設】
壁	LGS下地、石膏ボード t=12.5
	ビニルクロス貼り【新設】/パネーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】
	石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUSアルミ室名札(正面型)※フキキ81同等品【新設】
	仮眠ベッド(既製品)、収納ロッカー鍵付(既製品)【新設】

A

B

C

D

特記事項

変更事項

DNAC
DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION

株式会社
ダイナック
中日本
Design Room：山梨県甲府市相生1-5-15-2F
TEL：(055)-220-7600
山梨県知事登録 第1-031984号
一級建築士 第217345号 中込 秀

設計年月：2025.03
承認
中込
担当
作図

工事名称
(仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事

図面名称
改修後展開図 (3)

縮尺
A1：1/50
A3：1/100

図面番号
A-22

【仮眠室1】

床	既存フローリング
	タイルベットの【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5
	ソフトタイブ吹付【新設】/パネーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】
	石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUSフルーム室名札(側面型)※フクダFKY81同等品【新設】
	個室ブース：パネーションH=2000、建具W=800【新設】
	仮眠ベッド(既製品)、収納ロッカー鍵付(既製品)：新設

A

B

【 2 】

床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

C

D

【廊下】※一面のみ改修

床	タイル金ゴテ【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【存置】
巾木	ソフト巾木 H=100【新設】
壁	下地調整の上、ソフトタイブ吹付【新設】
天井	石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=15 リブ付き【新設】
廻縁	塩ビ製【存置】
備考	室名札：SUSフルーム室名札(正面型)※フクダFK81同等品【新設】

E

【 3 】

床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

特記事項

変更事項

DNAC
DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION

株式会社ディナック中日本
Design Room：山梨県甲府市相生1-5-15-2F
TEL：(055)-220-7600
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

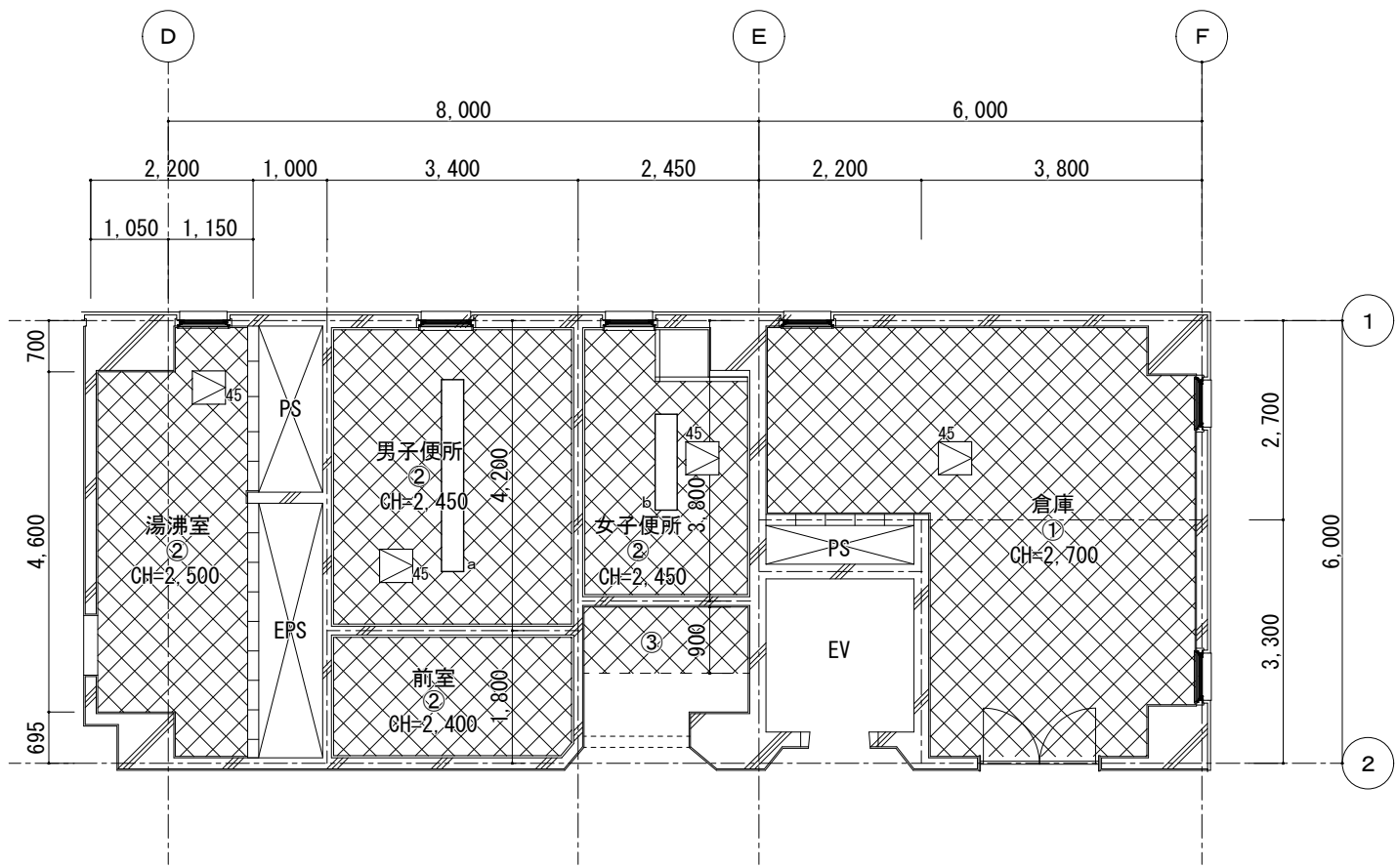
設計年月： 2025.03
承認 中込 担当 作図

工事名称
(仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事

図面名称
改修後展開図 (4)

縮尺
A1：1/50
A3：1/100

図面番号
A-23



2階天井伏図

<凡例>
: 天井下地・仕上新設範囲

記号	仕 上	
①	LGS下地+化粧石膏ボード t=9.0	撤去・新設
②	LGS下地+フレキシブルボード t=6.0 目透かし EP	撤去・新設
③	LGS下地+石膏ボード t=9.5+岩綿吸音板リブ付き t=15	撤去・新設
廻り縁	塩ビ製	撤去・新設
	天井点検口 450×450、開口補強共	4箇所 新設
	開口補強 (2600×300程度)	1箇所 新設
	開口補強 (1300×300程度)	1箇所 新設

■ 建具記号					■ 特記事項					■ 備考																			
<div>材種</div> <div>建具形式</div> <div>番号</div> <div>1</div> <div>SD</div>					<div>・ 建具寸法は近似値を示すものとする。</div> <div>・ 壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。</div> <div>・ ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。</div> <div>・ 特記無き新設SD・LSDの厚鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。</div> <div>・ 既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。</div>																								
番号	使用箇所	数量	<div>AD</div> <div>1</div>	浴室	1	<div>撤去</div> <div>WD</div> <div>1</div>	男子便所、女子便所、洗面・脱衣	3	<div>新設</div> <div>WD</div> <div>1</div>	男子便所、女子便所、洗面所	3	<div>撤去</div> <div>WD</div> <div>2</div>	通信事務室	1	<div>新設</div> <div>WD</div> <div>2</div>	通信事務室	1	<div>新設</div> <div>WD</div> <div>3</div>	洗面所、女子脱衣室、男子脱衣室	3									
姿図																													
	形式					アルミ引違戸					木製片開き戸					木製片開き戸					木製片開き戸								
	材質・仕上					電解着色					ポリ合板フラッシュ、アルミガラリ					ポリ合板フラッシュ					ポリ合板フラッシュ								
	見込					70					戸厚30、枠見込み205					戸厚30、枠見込み205					戸厚30、枠見込み205								
	ガラス等					フロートガラス t4					フロートガラス t4					フロートガラス t4					フロートガラス t4								
	金物					取付金物一式					T H、ドアチェック、戸当り、N D、C、G					T H、ドアチェック、戸当り、N D、C					T H、L H、電気錠、F B、戸当り								
改修内容					撤去					撤去 ドア（取付金物一式共）：撤去 三方枠：存置					新設 ドア（取付金物一式共）：新設 既存三方枠：25×205 SOP塗装					撤去 ドア（取付金物一式共）：撤去 三方枠：存置					新設 ドア（取付金物一式共）：新設 既存三方枠：25×205 SOP塗装				
番号	使用箇所	数量	<div>LSD</div> <div>1</div>	司令課	1	<div>新設</div> <div>LSD</div> <div>1</div>	司令課		<div>撤去</div> <div>LSD</div> <div>2</div>	指令課入口	1																		
姿図																													
	形式					片開きフラッシュ					片開きフラッシュ					片開きフラッシュ													
	材質・仕上					SOP					SOP					SOP													
	見込					40					40					40													
	ガラス等					－					フロートガラス t4					－													
	金物					D C、T H、N D、P D					D C、T H、L H、電気錠、G、戸当り					D C、T H、N D、P D、G													
改修内容					撤去 ドア（取付金物一式共）：撤去 三方枠：存置					新設 ドア（取付金物一式共）：新設 既存三方枠：SOP塗装					撤去 ドア（取付金物一式共）：撤去 三方枠：存置（SOP塗装）														

■ 建具記号

材種

SD

建具形式

番号

■ 略号

DC ドアクローザ

FB フランス落し

TH 丁番

OB 押棒

LH レバーハンドル

PD シリンダー錠

ND 握玉

C 空錠

MH 面付ハンドル

G ガラリ

■ 特記事項

・ 建具寸法は近似値を示すものとする。

・ 壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。

・ ストップバーは、引渡時にはフリーの状態にすること。

・ 特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。

・ 既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。

■ 備考

番号	使用箇所	数量	<div><div><div>P</div><div>2</div></div></div> 撤去	仮眠室1	1
----	------	----	---	------	---

姿図

900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	600
8,700										

形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	ー
金物	取付金物一式
改修内容	撤去

番号	使用箇所	数量	<div><div><div>P</div><div>2</div></div></div> 新設	仮眠室1	1
----	------	----	---	------	---

姿図

580	900	1,200	1,200	900	900	900	900	900	900	900	900	900	600
3,880				8,700									

形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	ー
金物	DC、TH、LH、PD、戸当り、取付金物一式
改修内容	新設 穴あけ加工：1箇所（電気スイッチ用）

特 記 事 項		変 更 事 項		DNAC DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION	株式会社 ディナック 中日本 <small>Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL: (055)-220-7600 山梨県知事登録 第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀</small>	設計年月： 2025.03				工事名称 (仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 建具表 (4)	縮尺 A1：1/30 A3：1/60	図面番号 A-30

■ 建具記号

材種

SD

建具形式

番号

■ 略号

DC ドアクローザ

FB フランス落し

TH 丁番

OB 押棒

LH レバーハンドル

PD シリンダー錠

ND 握玉

C 空錠

MH 面付ハンドル

G ガラリ

■ 特記事項

・ 建具寸法は近似値を示すものとする。

・ 壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。

・ ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。

・ 特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。

・ 既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。

■ 備考

番号	使用箇所	数量	<div><div>P</div><div>3</div></div> 撤去	データ入力室	1	<div><div>P</div><div>3</div></div> 新設	女子仮眠室	1
姿図								
形式	スチールパーテーション							
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板							
見込	60							
ガラス等	強化ガラス t5.0							
金物	取付金物一式							
改修内容	撤去				新設 穴あけ加工：1箇所（電気スイッチ用）			
番号	使用箇所	数量					1	
姿図								
形式								
材質・仕上								
見込								
ガラス等								
金物								
改修内容								

■ 建具記号				■ 特記事項				■ 備考			
<div>材種</div> <div>建具形式</div> <div>番号</div>				<div>・ 建具寸法は近似値を示すものとする。</div> <div>・ 壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。</div> <div>・ ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。</div> <div>・ 特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。</div> <div>・ 既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。</div>							
■ 略号											
D C ドアクローザ				F B フランス落し							
T H 丁番				O B 押棒							
L H レバーハンドル				P D シリンダー錠							
N D 握玉				C 空錠							
M H 面付ハンドル				G ガラリ							

番号	使用箇所	数量	<div>新設</div> <div>P5</div>	仮眠室2	1	<div>新設</div> <div>P6</div>	通信指令室	1	<div>新設</div> <div>P7</div>	通信指令室	1	<div>新設</div> <div>P8</div>	通信事務室	1						
姿図																				
	形式				スチールパーテーション				ローパーテーション				ローパーテーション							
	材質・仕上				溶融亜鉛メッキ鋼板				溶融亜鉛メッキ鋼板				両面クロス貼り平面パネル				両面クロス貼り平面パネル			
	見込				60				60				50				50			
	ガラス等				－				－				－				－			
	金物				取付金物一式				取付金物一式				取付金物一式				取付金物一式			
	改修内容				新設 穴あけ加工：1箇所（電気スイッチ用）				新設				新設				新設			
番号	使用箇所	数量	<div>新設</div> <div>P9</div>	仮眠室2 個室ブース								1								
姿図																				
	形式																			
	スチールパーテーション																			
	材質・仕上																			
	溶融亜鉛メッキ鋼板																			
	見込																			
	60																			
ガラス等																				
－																				
金物																				
D C、T H、L H、戸当り、表示錠、取付金物一式、明かり窓																				
改修内容																				
新設 ブース番号：カッティングシート 穴あけ加工：3箇所（電気スイッチ用、コンセント用、照明用）※ブースごと																				

■ 建具記号			■ 特記事項			■ 備考		
<div>材種</div> <div>建具形式</div> <div>番号</div> <div>1</div> <div>SD</div>			<div>・ 建具寸法は近似値を示すものとする。</div> <div>・ 壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。</div> <div>・ ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。</div> <div>・ 特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。</div> <div>・ 既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。</div>					
■ 略号								
D C ドアクローザ			F B フランス落し					
T H 丁番			O B 押棒					
L H レバーハンドル			P D シリンダー錠					
N D 握玉			C 空錠					
M H 面付ハンドル			G ガラリ					

番号	使用箇所	数量	<div>新設</div> <div>P9</div>	仮眠室2 個室ブース	1
----	------	----	-----------------------------	--------------	---

姿図	(D)	

形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	ー
金物	取付金物一式
改修内容	新設

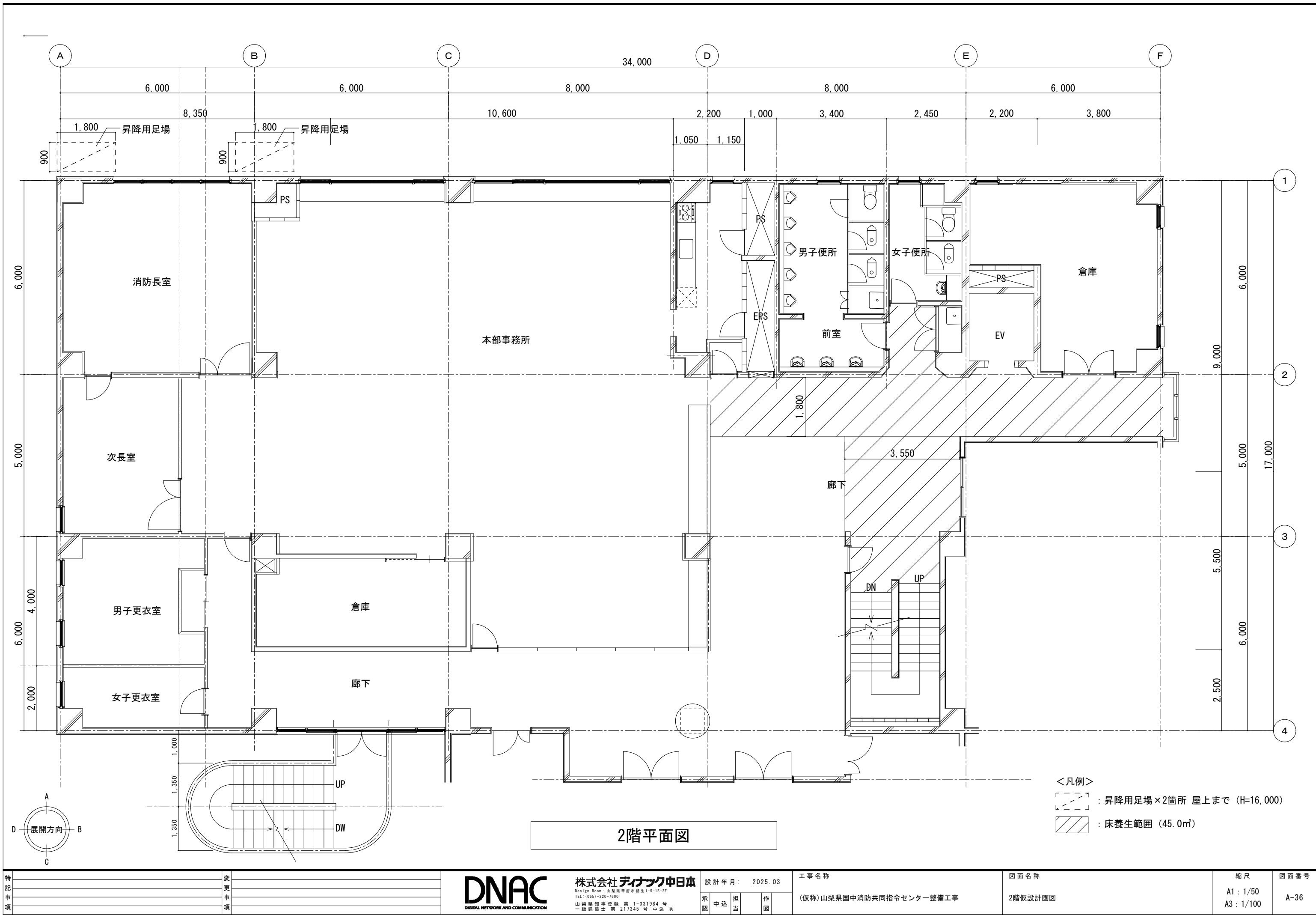
番号	使用箇所	数量	<div>新設</div> <div>P10</div>	仮眠室2 個室ブース	1
----	------	----	------------------------------	--------------	---

姿図	(E)		(F)	(G) ※2箇所

形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	ー
金物	D C、T H、L H、戸当り、表示錠、取付金物一式、明かり窓
改修内容	新設 ブース番号：カッティングシート 穴あけ加工：3箇所（電気スイッチ用、コンセント用、照明用）※ブースごと

ライニング		S=1/10	室名札（側面型）		S=1/2
<div><p>・D150 洗面所 ・D160 男子便所前室、女子便所 ・D200 男子便所</p></div>		<div><p>・D350 女子便所トイレブース</p></div>		<div><p>SUSフレーム室名札（フジタ FKY81 同等品）…計4箇所</p><ul style="list-style-type: none">・通信事務室・仮眠室 1・仮眠室 2・洗面所<p>※取付ビス位置</p></div>	
手洗い①②		S=1/20	室名札（正面型）		S=1/2
<div><p>① 男子便所前室 ② 女子便所</p></div>		<div><p>① 男子便所前室 ② 女子便所</p></div>		<div><p>SUSフレーム室名札（フジタ FK81 同等品）…計4箇所</p><ul style="list-style-type: none">・通信事務室・女子仮眠室・男子脱衣室・女子脱衣室<p>① 男子便所前室 ② 女子便所</p></div>	
洗面台		S=1/20			
<div><p>① 男子便所前室 ② 女子便所</p></div>		<div><p>天板: マーブライトカウンター (機械設備工事) 水栓 (機械設備工事) 洗面ボウル (機械設備工事) 下部収納: フロントパネル式 (機械設備工事)</p></div>			

特記事項	変更事項	<div><p>株式会社 ディナック 中日本 Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL: (055)-220-7600 山梨県知事登録 第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀</p></div>	設計年月: 2025. 03	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認 中込 担当 作図	(仮称) 山梨県国中消防共同指令センター整備工事	部分詳細図	A1: 1/2, 1/10, 1/20 A3: 1/4, 1/20, 1/40	A-35



特記事項	変更事項

DNAC
DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION

株式会社 **ディナック** 中日本
Design Room : 山梨県甲府市箱生1-5-15-2F
TEL : (055)-220-7600
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月 : 2025. 03
承認 中込 担当 作図

工事名称
(仮称) 山梨県山中消防共同指令センター整備工事

図面名称
2階仮設計計画図

縮尺
A1 : 1/50
A3 : 1/100

図面番号
A-36

